

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しづ子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壱岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡　例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30
土器実測図 1:4 土器拓影図 1:3 石器実測図 1:3、2:3 錢 1:1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高と同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

搅乱		地山（ローム）		焼土	
土器	●	石器★		黒曜石・チャート▲	
					礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文		撚糸文	
------	--	-----	--

(5) 土器断面図は、「網目」が纖維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第4表 2004年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(m ²)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	鶴ヶ岡外遺跡第2地点	鶴ヶ岡5-196, 197の一部	5,000	老人介護施設	2004.12.20~2005.2.2	2005.3.14~	試掘後、調査会で本調査
2	鶴ヶ岡遺跡第3地点	鶴ヶ岡3丁目	2,059	個人住宅	2005.1.7		試掘調査
3	江川東遺跡第8地点	東久保1丁目150他	6,137	共同住宅	2004.3.25~4.8		試掘調査
4	江川東遺跡第9地点	東久保1-6-19	464	保育園	2004.4.9~4.19	2004.5.10~5.25	試掘調査
5	東久保遺跡第58地点	ふじみ野2-27-2	558	分譲住宅	2004.4.13~4.14		試掘調査
6	東久保遺跡第59地点	ふじみ野2-25-7、8、9	1,804	店舗	2004.6.29	2004.7.14~7.23	試掘後、調査会で本調査
7	東久保遺跡第60地点	ふじみ野2-26-16	337	個人住宅	2004.7.22~7.24		試掘調査
8	東久保遺跡第62地点	ふじみ野2-25-16	220	個人住宅	2004.10.12~10.15		試掘調査
9	亀久保堀跡遺跡第30地点	ふじみ野2-25-1	659	店舗	2005.1.11~1.12	2005.1.31~2.7	試掘後、調査会で本調査
10	東久保南遺跡第33地点	ふじみ野4-9-2	354	店舗	2004.7.8~7.9		試掘調査
11	東久保南遺跡第34地点	ふじみ野4-9-2	555	店舗付共同住宅	2004.7.8~7.12		試掘調査
12	東久保南遺跡第35地点	ふじみ野1-5-8	194	個人住宅	2005.1.17		試掘調査
13	東久保南遺跡第36地点	ふじみ野4-8-7	1,005	事務所	2005.1.21~1.27	2005.2.7~2.15	試掘後、調査会で本調査
14	東久保南遺跡第37地点	ふじみ野4-10-1	695	駐車場	2005.2.10~2.14		試掘調査
15	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-4	222	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
16	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-19	105	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
17	西ノ原遺跡第128地点	旭1-16-9、10	614	店舗	2004.6.14~7.15	2004.7.16~9.29	試掘調査
18	西ノ原遺跡第129地点	旭1-11-5	235	共同住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
19	西ノ原遺跡第130地点	旭1-5-8	116	個人住宅	2004.10.14~10.15		試掘調査
20	西ノ原遺跡第131地点	旭1-5-13	97	店舗付個人住宅	2004.10.22		試掘調査
21	中沢前遺跡第25地点	苗間1-10-8	809	共同住宅	2004.6.4~6.10		試掘調査
22	神明後遺跡第23地点	苗間253	62	個人住宅	2004.4.9		試掘調査
23	神明後遺跡第24地点	苗間神明後293-4, 10	148	個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
24	神明後遺跡第25地点	苗間295-1	660	店舗付個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
25	浄禪寺遺跡第24地点	苗間字神明後346-1、2の一部	391	個人住宅	2004.8.30~8.31		試掘調査
26	浄禪寺遺跡第25地点	苗間339-1, 2	721	共同住宅	2004.9.22~10.12		試掘調査
27	浄禪寺遺跡第26地点	苗間字神明後354の2の一部	216	分譲住宅	2005.3.3~3.8		試掘調査
28	苗間東久保遺跡第23地点	苗間字東久保640-9	104	個人住宅	2004.9.1		試掘調査
29	小田久保遺跡第6地点	大井小田久保1207-5	306	個人住宅		2004.10.26~11.13	教育委員会で本調査
30	大井宿遺跡第8地点	大井1-6-7	282	個人住宅	2004.4.20		試掘調査
31	大井宿遺跡第10地点	大井1-3-16	341	分譲住宅	2004.9.21~10.6		試掘調査
32	大井宿遺跡第11地点	大井1丁目5番5, 11	970	共同住宅	2004.12.10~12.20	2005.1.6~1.29	試掘後、調査会で本調査
33	本村遺跡第112地点	市沢1-17-16	289	共同住宅	2004.7.27		試掘調査
34	大井戸上遺跡第4地点	大井字東台689-3	128	個人住宅	2004.5.27		試掘調査
35	西台遺跡第5地点	大井字西台911-51	139	個人住宅	2004.6.17		試掘調査
36	東台遺跡第41地点	大井字東台648-4	182	個人住宅	2004.5.11~5.14		試掘調査
37	東台遺跡第42地点	大井640-4	515	教会増築	2004.9.7~9.17		試掘調査
38	東台遺跡第43地点	大井東台661-6	964	駐車場	2005.1.13		試掘調査
面積合計			28,657				

XIX 大井宿遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

大井宿遺跡は国道254号線川越街道沿いの旧大井宿の宿場範囲内にある。大井宿は全長約1.5kmで、砂川堀右岸の標高27mの台地上から始まり、砂川堀を渡つて左岸の標高21~22mの低位台地上に位置する。

大井宿の南側約半分は大井氏館跡遺跡に含まれており、既に遺跡の登録がされている。2000年に遺跡範囲外の2ヶ所の試掘調査により、多数の遺構と遺物が確認されたため、大井宿の北側部分を新たに遺跡の範囲とし遺跡名を設けた。

川越街道は江戸時代の寛永年間（1624~1643）に整備された日本橋から川越に至る11里（約44km）の道の呼称で、街道に存在した6つの宿駅（上板橋・下練馬・白子・膝折・大和田・大井）の1つが大井宿である。

大井宿遺跡では2005年3月現在、11ヶ所で調査が行なわれ、中世～近代の遺構・遺物が検出されている。

2 大井宿遺跡第7地点

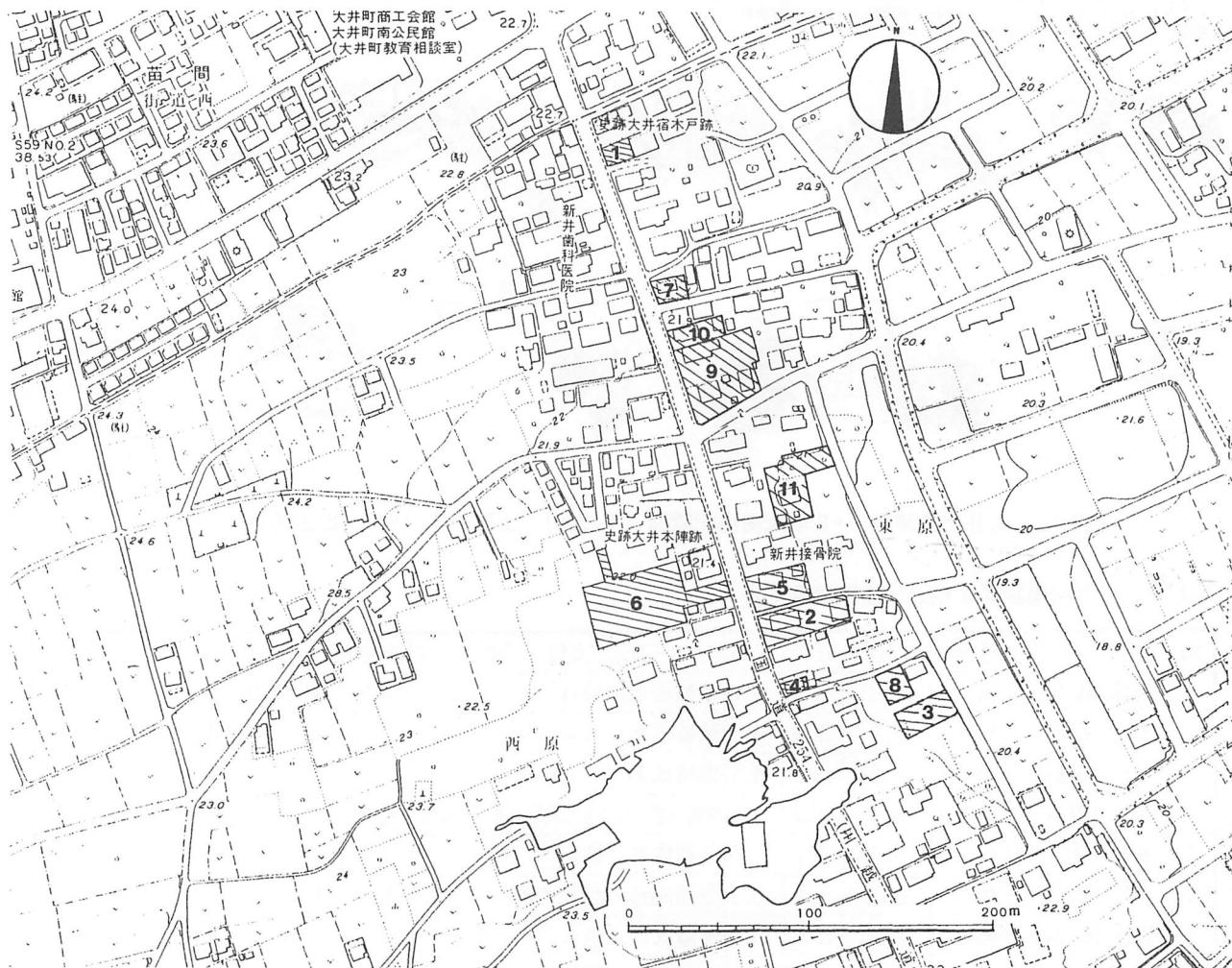
(1) 調査の概要

調査は事務所建設に伴うもので、原因者より2002年3月18日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央、川越街道に面して立地しているため原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2002年4月15日から翌16日まで行なった。幅約3mのトレーナーを1本設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査したところ、溝状遺構とゴミ穴を検出した。出土遺物はすべて近代以降である。確認面まで65cmを測る。建築による遺構への影響がないため慎重工事とし、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

(2) 遺物

ゴミ穴および溝状遺構の表採品を図示した。



第83図 大井宿遺跡の地形と調査区（1/4,000）

3 大井宿遺跡第8地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年4月4日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南側に位置しているため原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年4月20日に行なった。幅約1mのトレンチを2本設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査したが、厚さ80cm以上の礫混じりの土でほぼ調査区全域が盛土されていた。遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで140cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

4 大井宿遺跡第9地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2003年2月18日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央、川越街道に面して立地しているため原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年2月26日から同年4月3日まで行なった。幅約2mのトレンチを8本設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査した結果、土坑、ピット等多数の遺構と遺物を検出した。確認面まで60~90cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

申請は当初、共同住宅の建設であった。本調査の必要がある旨を原因者に伝えたところ、開発行為の変更があり、再度2004年4月6日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が提出され、分譲住宅建設が申請された。原因者と再協議の結果、宅地部分は遺構への影響が無いため慎重工事とし、取り付け道路部分のみ原因者負担による本調査を実施することになった。

本調査は2004年7月30日から同年9月3日まで、大井町遺跡調査会が行ない、幕末から明治の掘建柱建物跡、地下室、井戸、ゴミ穴等を検出した。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)

5 大井宿遺跡第10地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2004年4月6日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央、川越街道に面し、第9地点の北側に隣接しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年9月21日から同年10月6日まで行なった。幅約2mのトレンチを2本設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査した結果、土坑、ピット等多数の遺構と遺物を検出した。確認面まで60~110cmを測る。建築による遺構への影響がないため慎重工事とし、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

6 大井宿遺跡第11地点

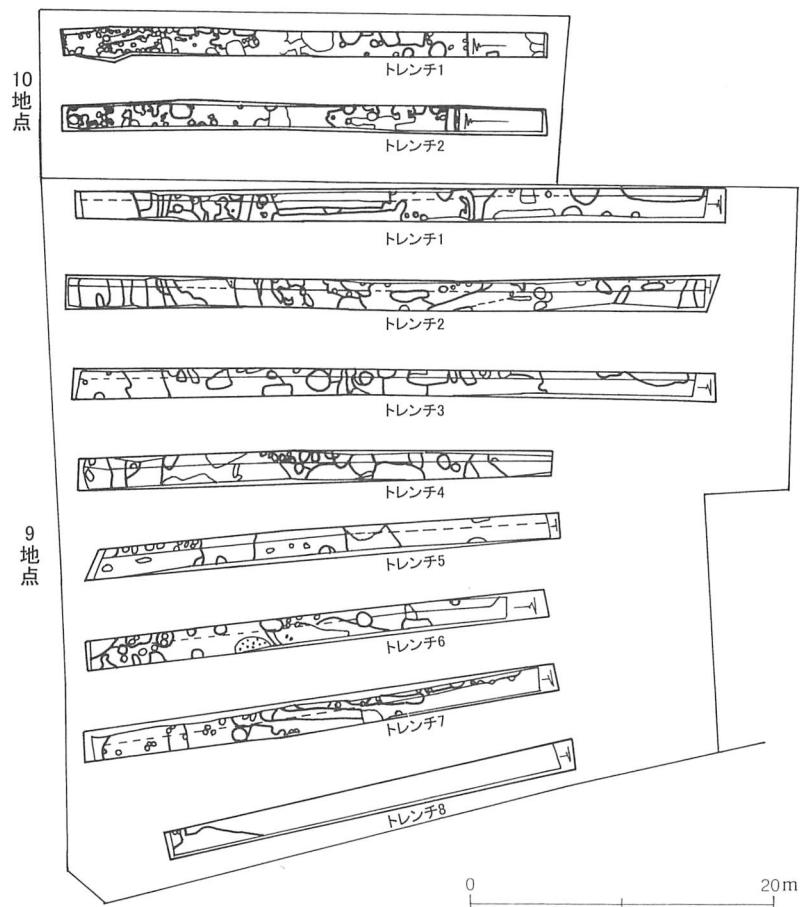
(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2004年10月7日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央に位置しているため原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

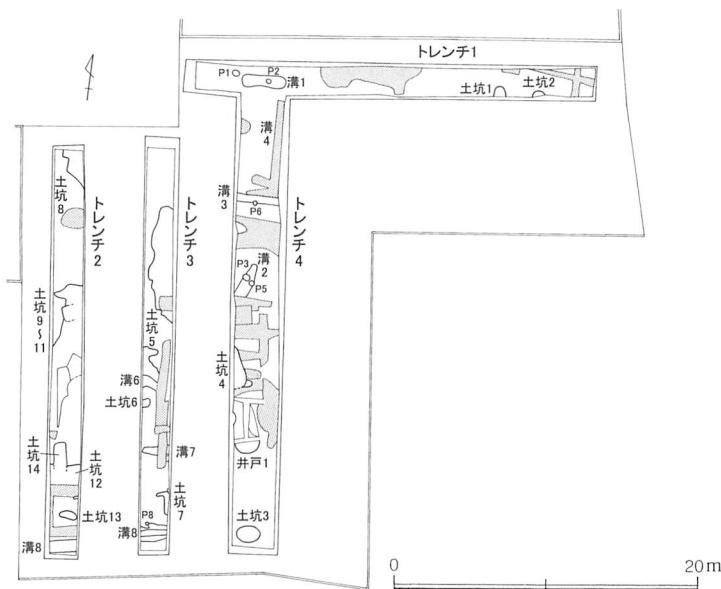
試掘調査は2004年12月10日から同年12月20日まで行った。幅約2mのトレンチを4本設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査した結果、土坑、ピット等多数の遺構と遺物を検出した。確認面まで70~90cmを測る。原因者と再協議の結果、駐車場部分は遺構への影響が無いため慎重工事とし、建物部分は原因者負担による本調査を実施することになった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は2005年1月6日から同年1月29日まで、大井町遺跡調査会が行ない、近世初頭から明治の溝、掘建柱建物跡、地下室、井戸、ゴミ穴等を検出した。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)

9・10地点



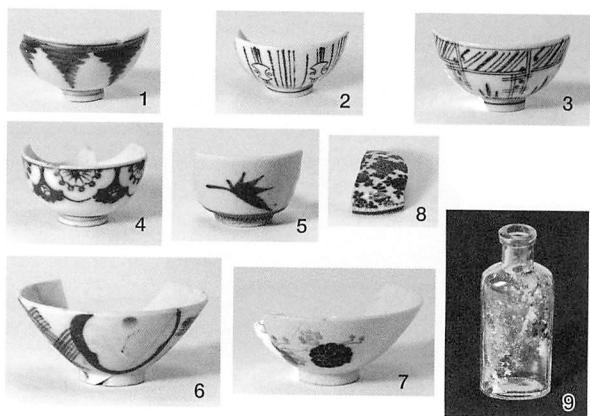
11地点



第85図 大井宿遺跡第9・10・11地点遺構配置図（1/500）



大井宿遺跡第7地点試掘調査



大井宿遺跡第7地点出土遺物



大井宿遺跡第8地点試掘調査



大井宿遺跡第9地点試掘調査



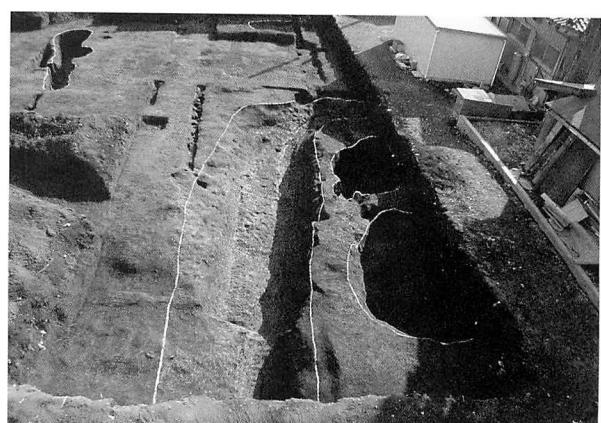
大井宿遺跡第9地点本調査



大井宿遺跡第10地点試掘調査



大井宿遺跡第11地点試掘調査



大井宿遺跡第11地点本調査



大井宿遺跡第11地点井戸 1・大溝 1・土坑16



大井宿遺跡第11地点調査区中央ピット群

理 事	木村常次 佐藤啓子 高山 稔 飯塚泰子 松澤和喜 細谷孝之 福馬 晃 比嘉洋子	(大井町都市整備課課長補佐) (大井町文化財保護審議委員) (大井町企画財政課長補佐) (ふじみ野市臨時の任用職員) (大井町都市整備課課長補佐) (大井町企画財政課課長補佐) (大井町都市整備課課長補佐) (ふじみ野市文化財保護審議会委員)	平成14年7月1日～平成16年6月30日 平成14年7月1日～平成21年9月30日 平成15年4月1日～平成16年3月31日 平成15年4月1日～平成21年9月30日 平成16年4月1日～平成17年3月31日 平成16年4月1日～平成17年9月30日 平成17年4月1日～平成17年9月30日 平成17年10月1日～平成21年9月30日
監 事	塩野賀一 雪平正雄 馬場建次 近藤 朗 坂田秀樹 鈴木 良	(大井町文化財保護審議委員) (大井町会計課長) (大井町会計課長) (ふじみ野市出納室主幹) (ふじみ野市副参事兼会計管理者) (ふじみ野市副参事兼会計管理者)	平成15年4月1日～平成21年9月30日 平成16年7月1日～平成17年3月31日 平成17年4月1日～平成17年9月30日 平成17年10月1日～平成19年3月31日 平成19年4月1日～平成21年3月31日 平成21年4月1日～平成21年9月30日
事務局			
事務局長	金子忠弘	(大井町生涯学習課長、ふじみ野市生涯学習課長)	平成12年4月1日～平成17年12月31日
	原田 昇	(ふじみ野市副参事兼生涯学習課課長)	平成18年1月1日～平成20年3月31日
	田中節子	(ふじみ野市生涯学習部次長兼生涯学習課長)	平成20年4月1日～平成21年3月31日
	綾部 誠	(ふじみ野市生涯学習部次長兼生涯学習課長)	平成21年4月1日～平成21年9月30日
事務局次長	坪田幹男	(大井町生涯学習課文化財保護係長) (ふじみ野市生涯学習課文化財保護係長)	平成15年4月1日～平成16年3月31日 平成19年4月1日～平成21年9月30日
	上田範文	(大井町生涯学習課文化財保護係長)	平成16年4月1日～平成17年3月31日
	島田喜吉	(大井町生涯学習課文化財保護係長)	平成17年4月1日～平成17年9月30日
事務局員	高崎直成	(ふじみ野市生涯学習課文化財保護係)	平成1年4月1日～平成21年9月30日
	鍋島直久	(ふじみ野市生涯学習課文化財保護係)	平成3年4月1日～平成21年9月30日
	神木よし美	(大井町生涯学習課文化財保護係)	平成15年4月1日～平成17年3月31日
	高橋京子	(平成17年10月1日よりふじみ野市教育委員会臨時任用職員)	平成11年5月13日～平成21年9月30日

凡 例

1. 本書の遺構挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 縮尺はその都度図中に示している。
- (2) 遺構断面図の水糸高は海拔を示す。
- (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示は以下のとおりである。また、遺物出土状況のドットの指示はその都度図中に示している。



地 山



攪 亂



焼 土



遺 物



石



炭化物・層

2. 本書の遺物挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 遺物番号は地点ごとに1からはじまる。
- (2) 土器・陶磁器実測図中における遺物の中心線上の▼印は反転実測を表す。また、断面図の細い▲印は釉ハギ部分を示す。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会生涯学習課に保管してある。

第4章 大井宿遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境（第27図、第14表）

大井宿遺跡は国道254号線川越街道沿いの旧大井宿の宿場範囲内にある。大井宿は全長約1kmで、砂川堀右岸の標高29mの台地上から始まり、砂川堀を渡って左岸の標高21～22mの低位台地上に位置する。

大井宿の南側約半分は大井氏館跡遺跡に含まれており、既に遺跡の登録がなされている。2000年に遺跡範囲外の2ヶ所の試掘調査により、多数の遺構と遺物が確認されたため、大井宿の北側部分を新たに遺跡の範囲とし遺跡名を設けた。

川越街道は江戸時代の寛永年間（1624～1644）に整備された日本橋から川越に至る11里（約44km）の道の呼称で、街道に存在した6つの宿駅（上板橋・下練馬・白子・膝折・大和田・大井）の1つが大井宿である。

大井宿遺跡では2009年6月現在、15ヶ所で調査が行なわれ、中世～近代の遺構・遺物が検出されている。

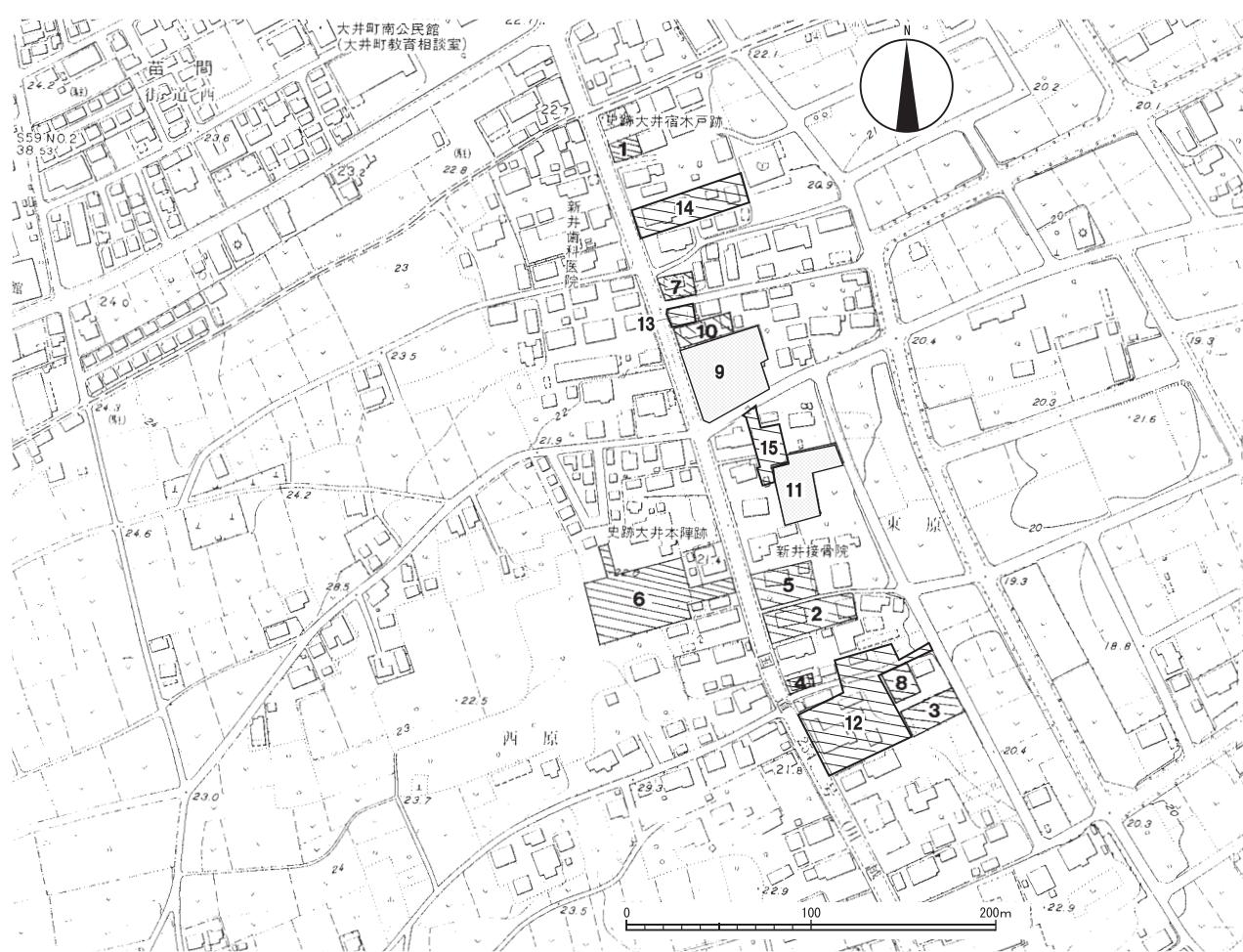
2 大井宿遺跡第9地点

(1) 調査の概要（第28図）

調査は分譲住宅建設に伴うもので、2003年2月26日から4月3日まで行なった試掘調査に基づき申請者と協議した結果、宅地部分は遺構への影響が無いため慎重工事とし、取り付け道路部分のみ原因者負担による本調査を実施することになった。

本調査は2004年7月30日から開始し、同年9月3日調査を終了した。表土を重機により除去し、人力による表面精査で遺構範囲を確認した。遺構調査は人力で覆土を除去しつつ、遺物出土状況図・土層図・遺構平面図・調査区域図等を遺り方測量、平板測量及び航空測量で実測し、写真撮影を行なった。

検出した遺構は近世から近代の穴蔵1基、土坑20基、溝状遺構14基、集石8基、礎石1基、井戸2基、埋桶1基、ピット140基である。

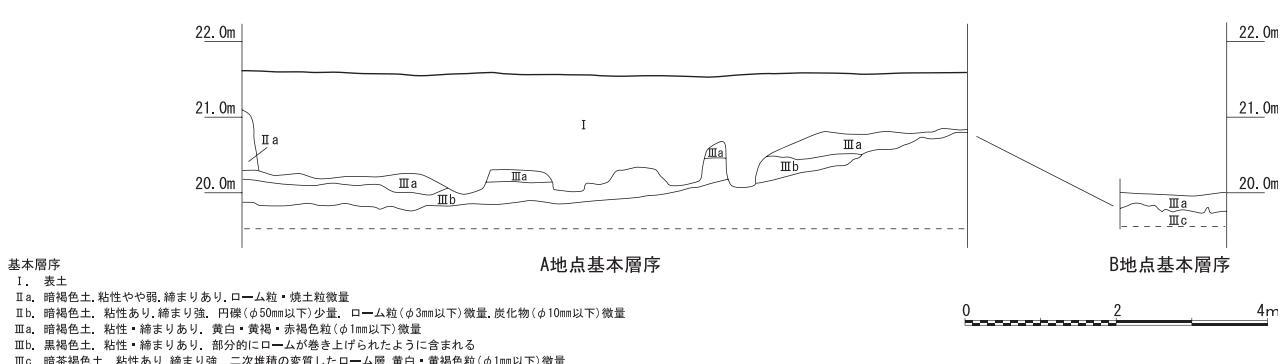
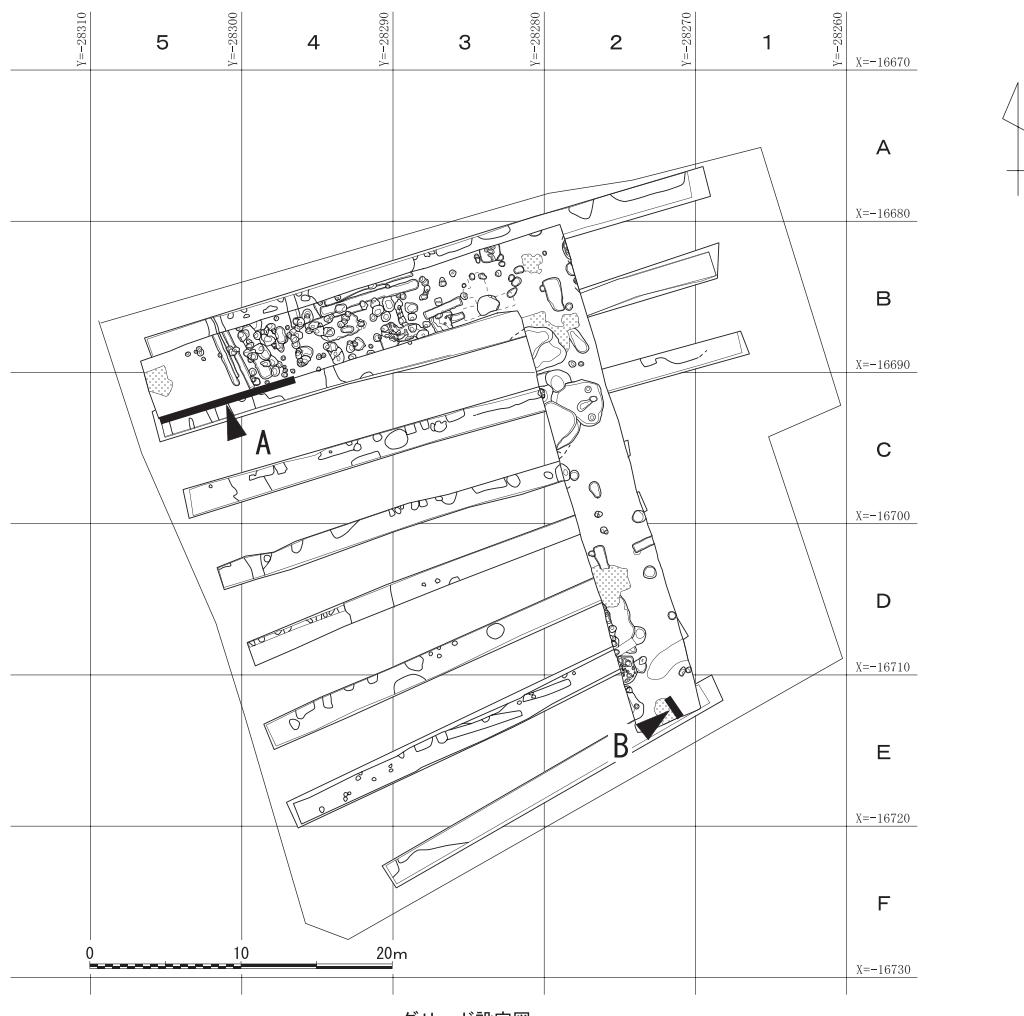


第27図 大井宿遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第14表 大井宿遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	報告書
1	大井1-2-22, 23	1999. 8. 9	110	店舗	近代（焼土層）	町内IX
2	大井1-6-1	2000. 3. 14～3. 28	786	店舗	近世（溝1・土坑49・ビット）	町内IX
3	大井1-6-8	2000. 7. 7～7. 13	605	高齢者介護施設	中世（溝）	町内X
4	大井1-6-25	2000. 8. 28～8. 30	122	個人住宅	近世以降（溝・土坑）	町内X
5	大井1-5-9	2000. 10. 24～10. 25	781	駐車場	近世以降（溝・土坑他）	町内X
6	大井1052-1, 2, 1071	2000. 11. 28～12. 15	2, 300	長屋住宅	近世以降（溝・土坑他）	町内X
7	大井1-2-16	2002. 4. 15～4. 16	257	事務所	近世以降（溝・土坑他）	町内XII
8	大井1-6-7	2004. 4. 20	282	個人住宅	なし	町内XII
9	大井1-3-14, 15	2004. 7. 30～9. 3	1, 617	宅地造成	近世・近代（穴蔵1・土坑20・溝14・集石8・礎石1・井戸2・埋垣1・ビット）	大調21

大調=大井町遺跡調査会報告、大史=大井町史料、東部=東部遺跡群、町内=町内遺跡群、市内=市内遺跡群



第28図 グリッド設定図 (1/500)・基本層序 (1/100)

3 大井宿遺跡第11地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、2004年12月10日から同年12月20日まで行なった試掘調査に基づき申請者と協議した結果、開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。なお、駐車場部分は遺構への影響が無いため慎重工事とし、建物部分のみ本調査を行なった。

本調査は2005年1月6日から開始し、同年1月29日調査を終了した。表土を重機により除去し、人力による表面精査で遺構範囲を確認した。遺構調査は人力で覆土を除去しつつ、土層図・遺構平面図・調査区域図等を遺り方測量と平板測量で実測し、写真撮影を行なっ

た。

検出した遺構は近世～近代の穴蔵1基、井戸1基、大溝1条、溝5条、土坑11基、土蔵跡1基、ピット164基である。

(2) 遺構と遺物

基本層序

各遺構図に記した盛土・整地層の内容は第21表の通りである。遺構確認面となるローム層上面は、酸化により暗赤褐色化している。現在、調査区の350m南を東流する砂川堀（すながわぼり）（第86図）の旧氾濫原となっていた影響によると考えられる。今回、遺構確認面以下の自然堆積層については、層序の確認作業を省略した。



第61図 遺構配置図 (1/250)

第19表 大井宿遺跡第11地点 遺構一覧表

()内は残存値及び確認された規模、備考欄の写番号は写真図版番号

図版番号	遺構名	形状	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	主軸方位	遺物	時期	備考
61・62	穴藏1	十字形	南北方向 770 東西方向 (320)	南北方向 50~140 東西方向 60~(70)	150 ~ 160	18.64 ~ 18.54	N-19° ~W	○	近世以降	開口部は天井部が崩落しており不明。底部は東西南北とも奥に向かって広がる／写13。
61・63・64	井戸1	円形か	径360	—	120	(18.71)	—	○	近世以降	西側は調査区外に延びる。土坑21より旧。 空隙のため下端未掘／写13。
61・63・64	大溝1	—	(1400)	110~345	西側 30 北側 105	19.64 ~ 18.90	南北方向 N-4° ~E	○	近世以降	西側調査区外から弧を描きながら北側調査区外へのびる。西側から北側に向かって下端の標高は落ちていく。土坑16、P134より旧。P2・P9a・P9bと切り合う／写13・14。
61・65	溝1	—	(300)	50~70	11~32	19.35~19.70	N-84° ~E		近世以降	東側は調査区外へ延びる。西側に向かって下端の標高は落ちていく。溝3と同一遺構か／写14。
61・65	溝2	—	(310)	70	16	19.91	N-23° ~E		近世以降	南側は攪乱される。P試掘3・5より新／写14。
61・65	溝3	—	(300)	50	16	19.77	N-86° ~W	○	近世以降	東西両側とも調査区外へ延びる。溝1と同一遺構か。P試掘6と切り合う／写14。
61・65	溝8	—	西側 (190) 東側 (175)	西側 (120) 東側 (160)	西側 25 東側	19.84	N-80° ~E	○	近世以降	試掘トレンチ2・3南端で検出。P試掘10より新／写14。
61・65	溝試掘1	長方形	295	64~74	20	19.63	N-89° ~E		近世以降	P試掘2より新／写14。
61・66	土坑1	円形	径80	—	9	19.66	—		近世以降	単独／写14。
61・66	土坑2	円形	径90	—	13	19.60	—		近世以降	単独／写14。
61・66	土坑3	楕円形	153	92	76	19.15	N-84° ~W	○	近世以降	単独／写14。
61・66	土坑7	不明	(160)	(34)	8	19.97	N-7° ~W		近世以降	東側は調査区外へ延びる。P試掘7より新／写14。
61	土坑12	不明	(260)	(135)	13	20.01	N-89° ~E		近世以降	東西両側とも調査区外へ延びる。南側は土蔵跡に壊される。土坑20より新。土坑19より旧。
61・66	土坑13	長方形	125	65	10	20.3	N-83° ~W		近世以降	単独／写15。
61・63・64	土坑16 (廃棄土坑)	隅丸長方形か	(280)	230	125	18.68	N-44° ~E	○	近代	西側は調査区外に延びる。北東部には一辺が60cm、深さ65cm(20.12m)の方形の落ち込みが付属する。階段部か。大溝1より新／写13。
61・66	土坑18	不定形	(400)	270	13	19.93	N-85° ~W	○	近世以降	東側の一部を攪乱される。P9a・P9b・P11・P103~P107・P108a・P108b・P109・P110・P116と切り合う／写15。
61・66	土坑19	不明	(230)	240	32	20.23	N-79° ~E	○	近世以降	西側は試掘トレンチ2によって壊される。土坑12・土坑20、P56・P58・P59・P63・P66・P67bより新／写14・15。
61・66	土坑20	長方形か	(530)	190	23	19.86	N-2° ~E		近世以降	南側を土坑12に切られ、中央部を攪乱される。P55より新。土坑12・19、P56・P58・P59より旧。P120・P121と切り合う。
61・63	土坑21	—	150	(150)	77	19.31	—		近世以降	井戸1より新。
61・65	土蔵跡	—	350	幅85	—	—	N-4° ~W		近代	東西両側とも調査区外に延びる。土蔵の基礎跡／写15。

井戸1=旧土坑15 大溝1=旧土坑17

第20表 大井宿遺跡第11地点 ピット一覧表

()内は残存値及び確認された規模

図版番号	ピットNo.	形状	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	備考
68	P試1	楕円形	37	32	38	19.46	1トレンチ。単独。
68	P試2	楕円形	28	27	40	19.31	1トレンチ。溝試掘1より旧。
61	P試3	楕円形	38	31	45	19.60	4トレンチ。溝2より旧。
68	P試4	—	(26)	(20)	82	19.11	1トレンチ。北側調査区外。
61	P試5	楕円形	27	20	32	19.65	4トレンチ。溝3より旧。
61	P試6	—	40	(40)	63	19.27	4トレンチ。溝3と切り合う。
61	P試7	楕円形	56	37	46	19.61	3トレンチ。土坑7より旧。
61	P試8	楕円形	25	18	24	19.77	3トレンチ。
61	P試9	楕円形	20	19	17	19.86	3トレンチ。
61	P試10	—	11	(10)	9	19.61	3トレンチ。溝8より旧。
69・70	1	楕円形	38	33	10	19.86	単独。
69・70	2	円形	(40)	40	27	19.77	大溝1、P3・4と切り合う。
69・70	3	楕円形	60	35	52	19.55	P2と切り合う。
69・70	4	楕円形	52	43	30	19.74	P2と切り合う。
69・70	5	楕円形	34	30	47	19.68	単独。
69~71	6	楕円形	46	36	49	19.70	単独。
69	7	楕円形	38	(26)	13	20.02	P8より旧。
69	8	楕円形	55	38	26	19.89	P7より新。
69~71	9a	楕円形	45	(32)	60	19.45	P9bより新。 大溝1・土坑18と切り合う。
69~71	9b	楕円形	48	(32)	34	19.64	P9aより旧。 大溝1・土坑18と切り合う。
69~71	10	楕円形	60	46	69	19.41	P11より旧。
69~71	11	楕円形	35	(14)	18	19.86	P10より新。土坑18と切り合う。
69	12	楕円形	34	18	20	19.96	単独。
69・70	13	楕円形	48	36	61	19.55	単独。

図版番号	ピットNo.	形状	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	備考
69	14	楕円形	35	33	27	19.90	単独。
69	15	楕円形	24	15	7	20.08	単独。
69・70	16	長方形	31	24	17	19.95	単独。
68・70	17a	楕円形	48	(34)	40	19.74	P17b・18より新。
69~71	17b	楕円形	40	36	37	19.74	P17aより旧。
69~71	18	楕円形	32	(28)	35	19.82	P17aより旧。
69~71	19	楕円形	(27)	25	30	19.85	P20より旧。
69~71	20	楕円形	(37)	35	62	19.53	P19より新。
69	21	楕円形	35	30	23	19.91	単独。
69	22a,b	楕円形	38	(25)	9	20.02	P22dと切り合う。
69・70	22c	楕円形	(40)	32	44	19.65	P22dより新。
69・70	22d	楕円形	46	36	39	19.71	P22cより旧。P22a,bと切り合う。
69	23	楕円形	24	21	27	19.78	単独。
69	24	楕円形	(24)	22	32	19.71	P97と切り合う。
欠番	25	—	—	—	—	—	—
69・71	26	円形か	25	(14)	29	19.80	P27より新。
69~71	27	楕円形	(41)	35	66	19.43	P26より旧。P29と切り合う。
69	28	楕円形	32	24	33	19.74	単独。
69~71	29	楕円形	42	36	38	19.75	P27と切り合う。
69	30	楕円形	26	24	18	19.95	単独。
69	31	楕円形	(36)	30	33	19.78	P32と切り合う。
69・70	32	楕円形	54	34	37	19.75	P31・33と切り合う。
69・70	33	楕円形	38	32	29	19.81	P32と切り合う。
69・70	34	楕円形	40	39	31	19.79	単独。
69	35	楕円形	36	29	12	19.98	単独。
69・70	36	楕円形	48	46	47	19.67	単独。

図版番号	ピットNo.	形状	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	備考
69・70	37	長方形	36	18	36	19.81	P38と切り合う。
69・70	38	長方形	32	24	17	20.00	P39cより旧。P37と切り合う。
69~71	39a, b	楕円形	72	40	57	19.60	P39c・39d・39e・40と切り合う。
69~71	39c	楕円形	40	(34)	27	19.90	P38より新。39a, bと切り合う。
69~71	39d	楕円形	34	30	17	19.78	P39eより新。P39a, bと切り合う。
69~71	39e	楕円形か	34	32	36	19.81	P39dより旧。P39a, bと切り合う。
69	40	楕円形か	35	(24)	21	19.67	P39a, bと切り合う。
69	41a	楕円形	34	26	26	19.80	P41bと切り合う。
69	41b	楕円形	30	18	32	19.79	P41aと切り合う。
69~71	42	楕円形	46	36	57	19.61	P45と切り合う。
69	43	楕円形	28	22	15	19.94	単独。
69~71	44	楕円形	38	34	82	19.37	P45より旧。
69・70	45	楕円形か	30	(28)	46	19.72	P44より新。P46より旧。P42と切り合う。
69~71	46	楕円形	58	48	53	19.64	P45より新。
69	47	楕円形	46	24	44	19.58	単独。
欠番	48	—	—	—	—	—	—
69・70	49	—	(32)	(31)	38	19.71	P50e・50fと切り合う。
69・70	50a	楕円形	(70)	69	66	19.51	P50d・50e・50g・51と切り合う。
69~71	50b	楕円形	42	27	45	19.61	P50fより旧。
69~71	50c	楕円形	67	(47)	23	19.94	P50dより新。
69~71	50d	楕円形	52	48	32	19.84	P50eより新。P50cより旧。P50aと切り合う。
69~71	50e	楕円形	30	26	36	19.65	P50d・50fより旧。P49・50a・50gと切り合う。
69~71	50f	楕円形	52	56	62	19.55	P50b・50eより新。P49・P50gと切り合う。
69・70	50g	楕円形	30	29	69	19.48	P50a・50e・50fと切り合う。
69・70	51	楕円形	40	32	37	19.79	P50a・52と切り合う。
69	52	楕円形	18	16	15	19.90	P51と切り合う。
69	53a	楕円形	(29)	27	18	19.87	P53bと切り合う。
69	53b	楕円形	(24)	25	45	19.68	P53aと切り合う。
69・70	54	楕円形	42	33	41	19.74	単独。
69・70	55	楕円形	46	31	45	19.41	土坑20より旧。
69・70	56	楕円形	40	32	59	19.58	土坑20より新。土坑19より旧。
欠番	57	—	—	—	—	—	—
69・70	58	楕円形	56	32	69	19.44	土坑20、P59より新。土坑19より旧。
69	59	楕円形	29	(18)	35	19.77	土坑20より新。土坑19、P58より旧。
欠番	60	—	—	—	—	—	—
欠番	61	—	—	—	—	—	—
欠番	62	—	—	—	—	—	—
69	63	楕円形	44	35	21	19.91	土坑19より旧。
欠番	64	—	—	—	—	—	—
欠番	65	—	—	—	—	—	—
69	66	楕円形	42	35	24	19.93	土坑19より旧。
69	67a	楕円形	65	66	19	19.92	P67bと切り合う。
69	67b	楕円形	35	33	49	19.65	土坑19より旧。P67aと切り合う。
欠番	68	—	—	—	—	—	—
69	69	楕円形	18	15	8	20.02	単独。
69	70	楕円形	36	26	41	19.71	単独。
69	71	楕円形	46	36	19	19.88	単独。
69	72	楕円形	35	30	32	19.90	単独。
欠番	73	—	—	—	—	—	—
欠番	74	—	—	—	—	—	—
69	75	楕円形	38	35	20	19.82	単独。
欠番	76	—	—	—	—	—	—
69	77	楕円形	26	25	21	19.97	単独。
69	78	長方形	30	24	34	19.86	単独。
69	79	楕円形	31	28	33	19.85	単独。
69	80	楕円形	34	32	24	19.95	単独。
69~71	81a	楕円形	38	(22)	40	19.71	P81b・81cより新。
69~71	81b	楕円形	36	30	45	19.46	P81aより旧。
69~71	81c	楕円形	(36)	30	37	19.74	P81aより旧。
69~70	82	楕円形	40	35	51	19.67	P119と切り合う。
69~71	83a	楕円形	42	29	68	19.50	P83bより新。
69~71	83b	楕円形	40	32	40	19.76	P83aより旧。
69	84	楕円形	36	28	32	19.84	単独。
69	85	楕円形	35	29	29	19.90	単独。

図版番号	ピットNo.	形状	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	備考
69・70	86a	長方形か	(36)	24	22	19.96	P86bより新。
69~71	86b	楕円形	48	36	51	19.67	P86cより新。P86aより旧。P86fと切り合う。
69~71	86c	楕円形か	(40)	24	29	19.87	P86d・86fより新。P86bより旧。
69~71	86d	楕円形か	(50)	(30)	40	19.78	P86e・86fより新。P86cより旧。
69・71	86e	楕円形か	(28)	13	15	20.03	P86dより旧。
69・71	86f	楕円形か	37	(24)	56	19.59	P86c・86dより旧。P86bと切り合う。
69・71	87a	楕円形	(28)	(25)	21	19.94	P87bより新。P88より旧。
69~71	87b	楕円形	46	(40)	49	19.67	P87a・88より旧。
69~71	88	楕円形	36	28	53	19.61	P87a・87bより新。
69	89	楕円形	49	41	21	19.94	単独。
欠番	90	—	—	—	—	—	—
69・70	91a	楕円形か	(35)	(28)	11	20.01	P91cより新。P93aと切り合う。
69・70	91b	楕円形か	32	(20)	22	19.92	P91cより新。
69・70	91c	楕円形	42	30	30	19.83	P91a・91bより旧。P93aと切り合う。
69	92	楕円形	26	22	11	20.03	単独。
69・70	93a	楕円形	38	32	20	19.93	P93bより新。P91a・91cと切り合う。
69・70	93b	楕円形	30	(28)	25	19.86	P93aより旧。
69・70	94	楕円形	51	36	46	19.64	単独。
69	95	楕円形	48	38	29	19.80	単独。
69~71	96a	楕円形	42	30	48	19.60	P97より新。P98より旧。
69~71	96b	楕円形	88	64	43	19.63	P98より旧。
69~71	97	楕円形	60	45	80	19.28	P96aより旧。P24と切り合う。
69~71	98	楕円形	50	45	80	19.29	P96a・96bより新。
69~71	99	楕円形	45	36	66	19.41	P100fより新。P100eより旧。
69~71	100a	楕円形	36	34	46	19.67	P100b・100cより新。
69・70	100b	楕円形	52	42	52	19.60	P100aより旧。100cと切り合う。
69~71	100c	楕円形	58	54	70	19.41	P100dより新。P100aより旧。P100bと切り合う。
69~71	100d	楕円形	60	42	71	19.39	P100fより新。P100c・100eより旧。
69~71	100e	楕円形	40	29	27	19.78	P99・100dより新。
69~71	100f	楕円形	42	40	59	19.49	P99・P100dより旧。
69・70	101	楕円形	75	65	58	19.55	単独。
69	102	楕円形	36	34	29	19.64	単独。
69・70	103	楕円形	46	33	44	19.59	土坑18と切り合う。
69・70	104	楕円形	56	45	59	19.40	土坑18と切り合う。
69・70	105	楕円形	39	32	34	19.60	土坑18と切り合う。
69	106	楕円形	32	28	31	19.63	土坑18と切り合う。
69・70	107	楕円形	42	34	37	19.65	土坑18と切り合う。
69	108a	楕円形	(32)	22	20	19.78	土坑18、P108aと切り合う。
69	108b	楕円形	(32)	25	15	19.82	土坑18、P108aと切り合う。
69	109	円形	32	32	24	19.80	土坑18と切り合う。
69・70	110	楕円形	58	40	38	19.65	土坑18と切り合う。
欠番	111	—	—	—	—	—	—
欠番	112	—	—	—	—	—	—
欠番	113	—	—	—	—	—	—
69~71	114	楕円形	40	32	54	19.46	単独。
69	115	楕円形	55	40	21	19.91	単独。
69	116	楕円形	36	33	16	19.96	土坑18と切り合う。
欠番	117	—	—	—	—	—	—
69	118	楕円形	34	42	25	19.76	単独。
69	119	楕円形	30	15	17	20.01	P82と切り合う。
69	120	楕円形	35	28	9	19.79	土坑20と切り合う。
69	121	楕円形	18	15	10	19.73	土坑20と切り合う。
69・70	122	楕円形	40	35	47	19.67	単独。
69	123	楕円形	35	30	23	19.76	単独。
69・70	124	楕円形	40	38	29	19.62	単独。
69・70	125	楕円形	50	42	61	19.57	単独。
69・70	126	楕円形か	(20)	19	21	19.73	P127と切り合う。
69・70	127	楕円形	(40)	28	43	19.52	P126と切り合う。
69	128	楕円形	35	26	13	19.80	単独。
69	129	楕円形	55	40	32	19.66	単独。
69・70	130	楕円形	28	25	48	19.56	単独。
69	131	楕円形	20	(16)	23	19.87	単独。西側調査区外。
69・70	132	楕円形	26	26	37	19.75	単独。西側調査区外。
61	133	楕円形	25	23	23	19.61	単独。
61	134	楕円形	47	38	40	19.65	大溝1より新。

検出遺構

①穴蔵（第61・62・72図、第22・23表）

穴蔵1

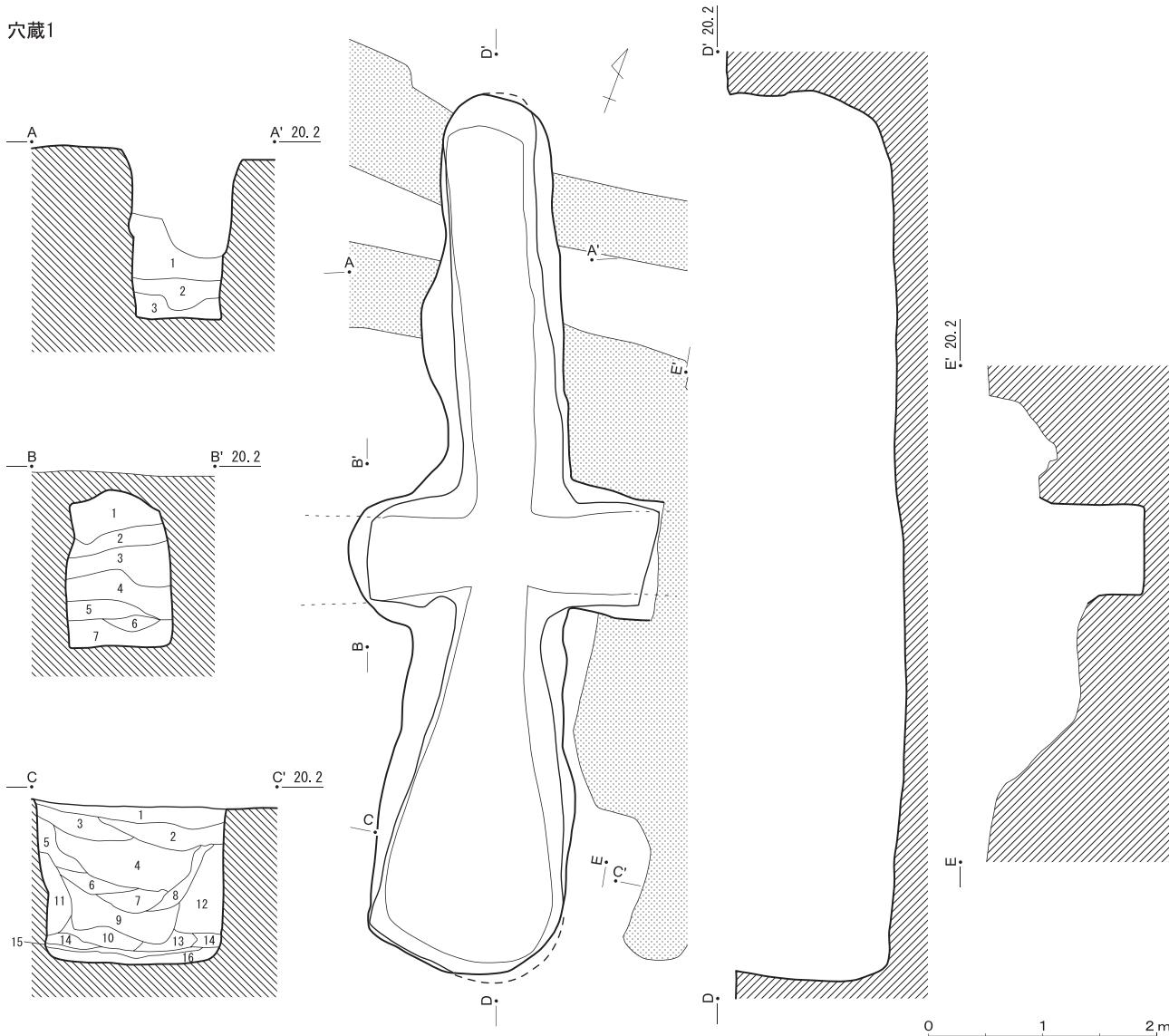
調査区南東部に位置する（規模は第19表参照）。

中央の豊坑から東西南北の4方向に幅の狭い横穴がのびる、アナグラ（43頁）と呼ばれるイモ類の貯蔵穴である。東西の横穴については横断面の観察のみを行なった。南横穴の奥が杓子形に広がっている点は独特であ

る。断面アーチ形の天井部は西の横穴にのみ残存し、他は崩落している。床から天井までの高さは1.35mである。底面は平滑でほぼ水平であり、奥壁以外の立ち上がりも垂直に整えられている。北横穴の壁面には工具痕が顕著に残る。

遺物は17世紀から近代までの製品を含む。銅版絵付磁器製品の器種内容が豊富で、碗、壺、散蓮華、蓋物蓋などがある。他に緑呂須の端反碗や、本調査区

穴蔵1



穴蔵1 A-A'

1. 黒褐色土、ロームブロック（φ260mm以下）多量、粘性・締まりやや弱
2. ローム土、ロームブロック（φ20mm以下）やや多量、粘性・締まりあり
3. 黒褐色土、ロームブロック（φ60mm以下）多量、粘性・締まりやや弱

穴蔵1 B-B'

1. 暗褐色土、ローム粒（φ5mm以下）やや多量、ロームブロック（φ100mm以下）多量、粘性やや弱、締まりあり
2. 暗褐色土、ローム粒（φ5mm以下）少量、ロームブロック（φ120mm以下）多量、粘性・締まりやや弱
3. 暗褐色土、ローム粒（φ5mm以下）・ロームブロック（φ30mm以下）少量、粘性・締まりあり
4. 暗褐色土、ローム主体、ロームブロック（φ最大430mm）含む、粘性やや弱、締まりあり
5. 暗褐色土、ローム粒・炭化物・瓦土少量、ロームブロック（φ30mm以下）やや多量、粘性・締まりあり
6. 暗褐色土、ロームブロック（φ120mm）やや多量、粘性・締まりあり
7. 暗褐色土、ロームブロック（φ110mm以下）主体、粘性やや弱、締まりあり

穴蔵1 C-C'

1. 暗褐色土、ローム粒少量、ロームブロック（φ20mm以下）・礫（φ15mm）微量、粘性あり、締まり強
2. 暗褐色土、ローム粒・ロームブロック（φ20mm以下）少量、礫（φ15mm）微量、粘性あり、締まり強
3. 暗褐色土、ローム粒微量、礫（φ15mm）少量、粘性・締まりあり

4. 暗褐色土、ローム粒・黄色灰（φ5mm以下）少量、円礫（φ100mm以下）多量、燒土（φ5mm以下）微量、砂やや多い、粘性・締まりあり、陶器片比較的多い
5. 暗褐色土、ローム粒・黄色灰（φ5mm以下）少量、燒土（φ5mm以下）微量、粘性あり、締まり強
6. 黒褐色土、ローム粒（φ5mm以下）少量、黃色灰微量、粘性やや弱、締まりあり、鐵・瓦含む
7. 暗褐色土、ローム粒・硬質暗褐色土ブロック・燒土（φ2mm以下）・礫（φ70mm以下）少量、粘性・締まりあり
8. 褐色土、ローム主体、暗褐色土少量、燒土（φ5mm）微量、粘性・締まりあり
9. 暗褐色土、ロームブロック（φ10mm）密に堆積、間に暗褐色土含む
10. 黄白色土・燒土（φ2mm以下）・円礫（φ100mm）微量、粘性あり、締まり強
11. 褐色土、ローム主体、粘性やや弱、締まりあり
12. 褐色土、ロームやや多い、暗褐色土少量、粘性あり、締まり強
13. 暗褐色土、褐色ロームと暗褐色土の混合土、燒土（φ2mm以下）少量、粘性・締まりやや弱
14. 褐色土、ロームブロック（φ40mm以下）多量、粘性・締まりあり
15. 暗褐色土、ローム粒・ロームブロック少量、黄灰色シルトやや多量、粘性・締まりあり
16. 褐色土、ローム粒・ロームブロック（φ15mm以下）主体、燒土（φ5mm以下）微量、粘性あり、締まり強、硬化している

第62図 穴蔵1 (1/60)

では希少な型紙絵付の蕎麦猪口が完形で出土している。

②井戸（第61・63・64・72図、第22・23表）

井戸1

調査区北西部に位置する（規模は第19表参照）。

直径約3.6mで円形のプランを呈する大型の井戸である。深さ1.2mまで調査した。これ以下は意図的に礫を用いて埋め戻されており、調査区境にかかるため、掘削調査を断念した。上部の壁面は外傾しており、深さ1.2m（標高19.7m）付近で内径を2.0m程度にすばめ、これ以下は垂直に掘り込んでいる。

遺物は、17世紀後葉を中心としており、大井宿の初期に重なる。

③大溝（第61・63・64・72・73図、第22・23表）

大溝1

調査区北西部に位置する（規模は第19表参照）。

調査区の西側から現われ、弧を描きながら北へ屈曲し、幅と深さを増しながら調査区外へ延びる。深さ約1m、上端幅は最大で3.5mを測る。断面は基本的に浅い薬研形で、壁面はやや外反気味に開く。但し、中央部分は、長方形の土坑が重複したような箱形の断面形を呈する。

覆土は、最上部に近代以降の盛土（II b層）が沈み込んでいるが、主体となる覆土は概ね礫やローム粒の混ざりが少ない。

出土遺物は、コバルト染付製品や板ガラスを少量含むが（第22表）、これらをII b層由来の混入とみなすならば、19世紀前葉から中葉のものが主体といえる。

本遺構は、北側に隣接する第15地点でも確認され（2007年調査）、調査区境から北へ約10m延びると東に折れ、北東方向に延びていた。瀬戸・美濃系磁器端反碗など19世紀前・中葉の遺物が出土している。なお、口碑では、第15地点付近に「おっぽりの家」なるもののが存在し、「江戸時代の末には、あったと言われている。堀の側だからおっぽりとね」との証言が記録されている（大井町史編さん委員会1982『郷土を語る』大井町史料第十七集）。実際に、幕末期頃は、大井本陣の北を画し、川越街道を横断して、前掲第9地点と第15地点の間を東西に延びる水路があり、街道部分には

橋が架けられていた（大井郷土資料館蔵「町並復元最終稿原図」1988）。しかし、宝永2（1705）年の「大井町明細帳」では、往還道に押堀（おしほり）（氾濫池）と橋があると記していることから、その水域周辺は本来、人工の堀溝ではなく、押堀であった可能性がある。

大溝1は基本的に、この押堀に余水を流下させるための溝であろう。ただ、中央にある箱形の掘り込み部分で、なんらかの作業が行なわれていたのではないかという印象を受けた。本陣の正面に、街道側から導水して水を使用する作業場が存在した場合、江戸時代の終焉と同時期に廃絶されている点は注目される。

④廃棄土坑（第61・63・64・73～81図、第22・23表）

土坑16

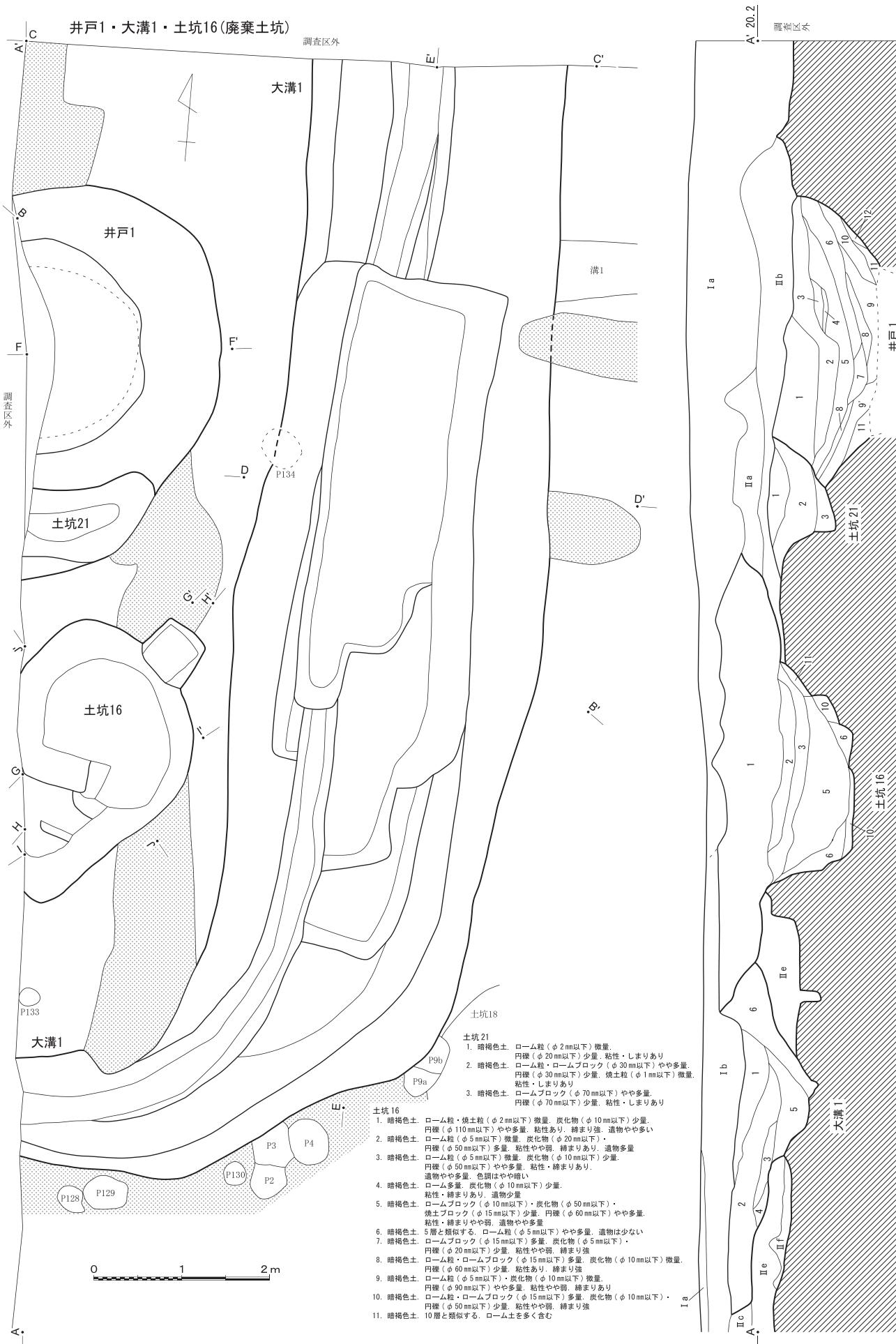
調査区北西部に位置する（規模は第19表参照）。

西部分が調査区外にかかるが、長軸を北東－南西方向にもつ隅丸長方形のプランであろう。底面は南西から北へ傾斜しており、粗い造作で階段状の足場が南壁際に設けられている。壁面はほぼ垂直で、東の立ち上がりに幅14cmの工具痕が連続して周溝状に残る。

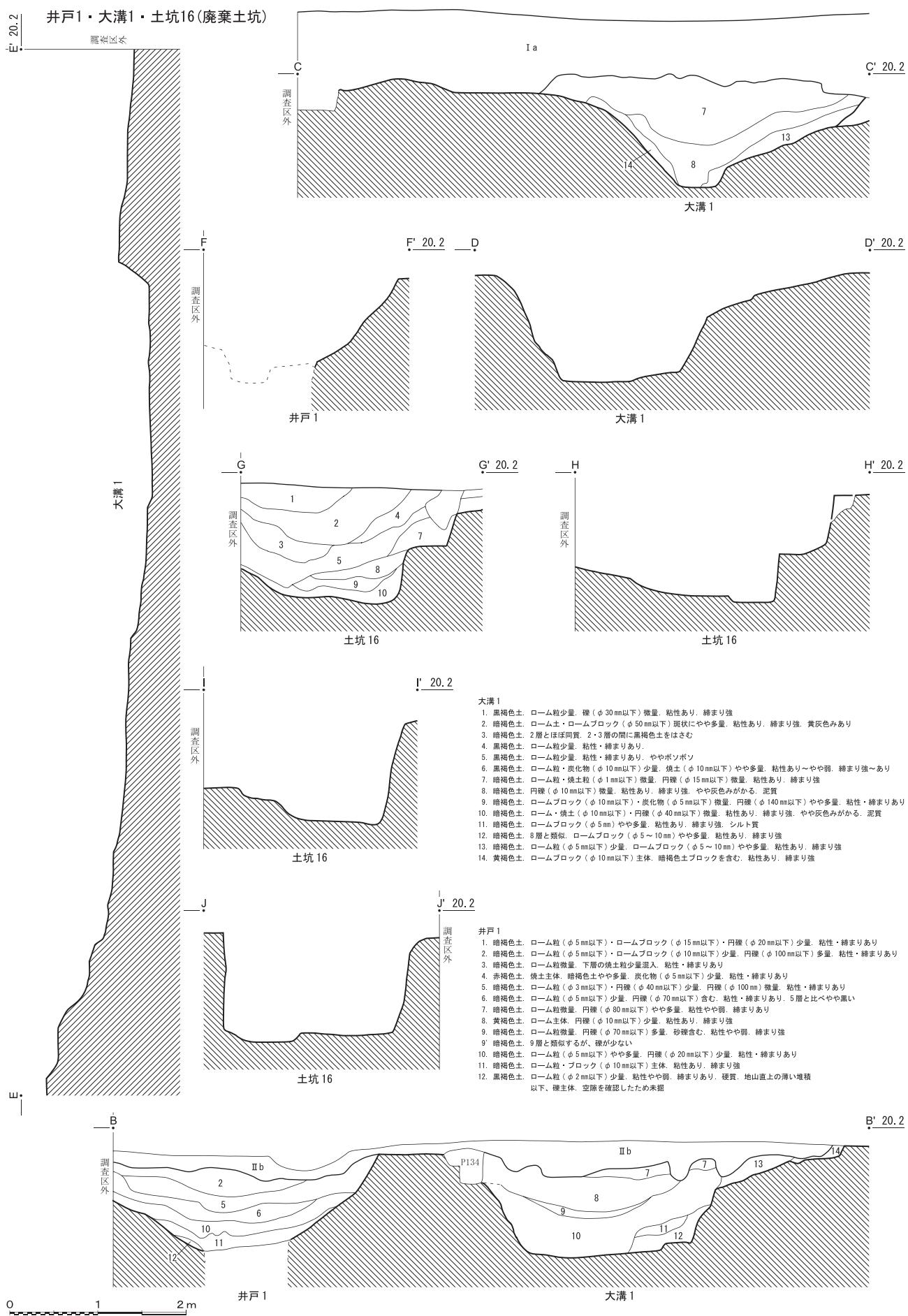
本調査地点で最多となる1,575点の遺物が出土した。幕末期から1890年代以降までの製品を間断なく含み、保有状態にあったものが一括廃棄されたと考えられる。また、遺存状態が良好な銅版絵付製品は小壺に限られ、碗や皿では主体となっていないことから、遺構の廃絶時期は1890年代中頃が下限と考えられる。1点カウントされているゴム版絵付製品（1920年代以降）は、後から混入した可能性が高い。

幕末期・明治初期をまたぐ1870年代頃の遺物のうち、21・22の丸碗や、30・31の端反碗では、同様なモチーフが天然貝殻製品と人工コバルト製品の両方でみられ、染付素材の転換期に流行した器形と文様を示している。なお、99（土鍋）のコバルト染付文字は、京焼の窯元名にもある「道八」と読める。

このほか、出土遺物については108頁以降で詳述されるが、器種内容や遺物量ともに豊富で、単婚小家族ではなく、旅籠や飲食関連の店舗からもたらされたものと考えられる。本調査地点の立地環境は、川越街道をはさみ、西の向いに本陣跡があり、南側には旅籠柏屋が隣接していた。しかし、幕末から明治時代初期に



第63図 井戸1、大溝1、土坑16（廃棄土坑）(1)、土坑21 (1/60)



第64図 井戸1、大溝1、土坑16（廃棄土坑）(2) (1/60)

おいて、本調査地点には、旅籠や飲食店ではなく、大井特産であるところの簾屋があったとされる（第87図）。土坑16の出土遺物をみる限りでは、幕末期から1890年代頃までの間に居住者の交替はなかったと考えられ、出土遺物の年代は簾屋の時期に重なる。

すると、これらの遺物が、隣接する旅宿や飲食店から簾屋の裏手に持ち込まれて、廃棄されたという経緯を説明するには煩雑さを伴う。むしろ、製造業、販売業のいずれかが定かではないが、簾屋の実態が問題となろう。例えば、明治15年の史料では、大井宿の坂上で木賃宿を経営していた仲野岩右衛門は「簾商」であったことがわかる（大井郷土資料館蔵「出火大類焼覚帳」栗原家文書）。また、現在は衰退してしまった大井簾の生産は、大正頃の記録では「遠ク文化文政年間二起原シ（中略）今ヤ製造金額四万円ヲ超ヘ近郷ハ勿論遠ク大坂京都等ニ販路ヲ拡張セリ本業ノ前途頗ル多望ナリトイフベシ」（大井郷土資料館蔵『大井村郷土史』1919）というほどの活況を呈していた。土坑16出土遺物の中心年代である1880～90年代頃は、旅籠や飲食店に限らずとも、商家が所有する陶磁器類は、格段に豊富となっていた可能性も感じられた。

⑤溝（第61・65・82図、第22・23表）

溝1・3

調査区北西部に位置する（規模は第19表参照）。

溝1と溝3は、間に未調査部分を挟むが、形態と分布状況からみて同一遺構であろう。東から西へ延び、大溝1に直交する。壁面の立ち上がりは丸みがあり、残存する上端幅は不整気味である。

溝1の西へ下る傾斜は、直交する大溝1を意識したものであると考えられることから、大溝1とほぼ同時期の遺構であると推定される。

溝2

調査区中央に位置する（規模は第19表参照）。

北東－南西方向に主軸をもつ。確認された掘り込みは深さ16cmと浅く、北部分は立ち消えとなる。

溝8

調査区南西部に位置する（規模は第19表参照）。

試掘トレンチ2・3の南端で確認された東流する溝である。調査範囲で確認できる北壁面は大きく開いて

いる。調査範囲内では明瞭な立ち上がりが検出されておらず、溝の心線は、より南側の敷地境界に重なると考えられる。幕末から明治時代初期を想定した大井宿復元図（第87図）では、本調査区の南側を東西に延びる水路があり、「町並復元最終稿原図」では本陣前の街道に、これを渡るための橋がみられる。

溝8の出土遺物は18世紀を中心とすることから、復元図に描かれた水路は、旧来あった溝8を整備して構築し直したものであろう。すると、溝8は、大溝1でも触れた押堀の一部であった可能性がある。なお、覆土は、最下層（第65図B-B' 5層）とそれ以降の堆積に時間差がみられる。

溝 試掘1

調査区北部分に位置する（規模は第19表参照）。

底面は細かな起伏があるが、ほぼ平坦、壁面は丸みのある立ち上がりである。

⑥土坑（第61・66・82図、第22・23表）

土坑1・2

調査区北東部に位置する（規模は第19表参照）。

直径80～90cmで円形の土坑が、東西に2基並ぶ。底面は平坦で、壁面は鋭く立ち上がりやや外傾する。土坑1ではさらに底部に直径55cmの浅い窪みがみられることから、結桶が埋設されていた可能性がある。便所や耕作関連の施設跡であろう。

土坑3

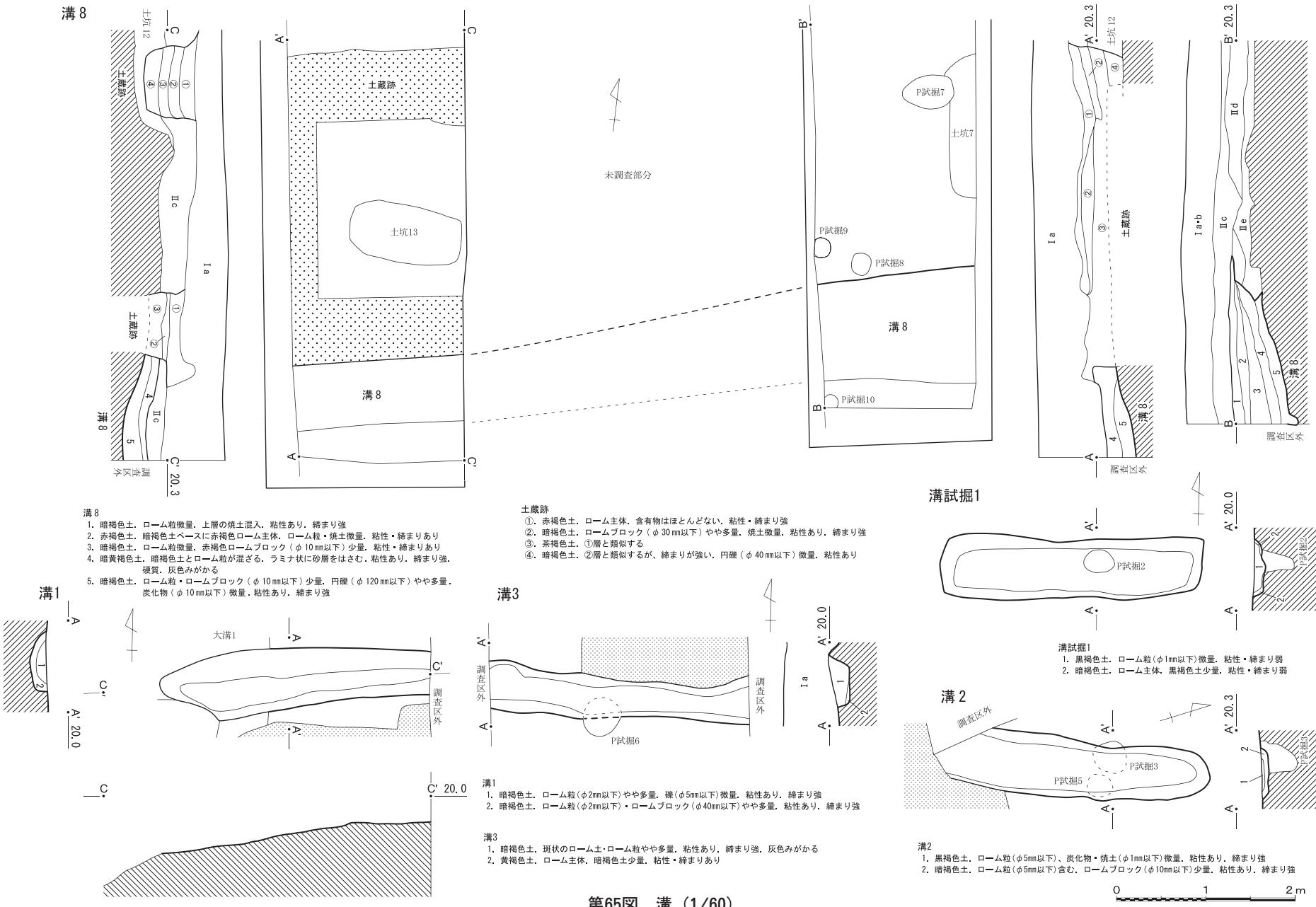
調査区の南部分に位置する（規模は第19表参照）。

上端は楕円形であるが、底面は平坦で長方形の平面形を呈し、比較的整っている。壁面はほぼ垂直に立ち上がり、一旦外反してから再び垂直となり、中程に稜を生じている。覆土には特徴的に酸化による赤化が目立つことから、本遺構は、便所や廃棄関連の遺構であると考えられる。

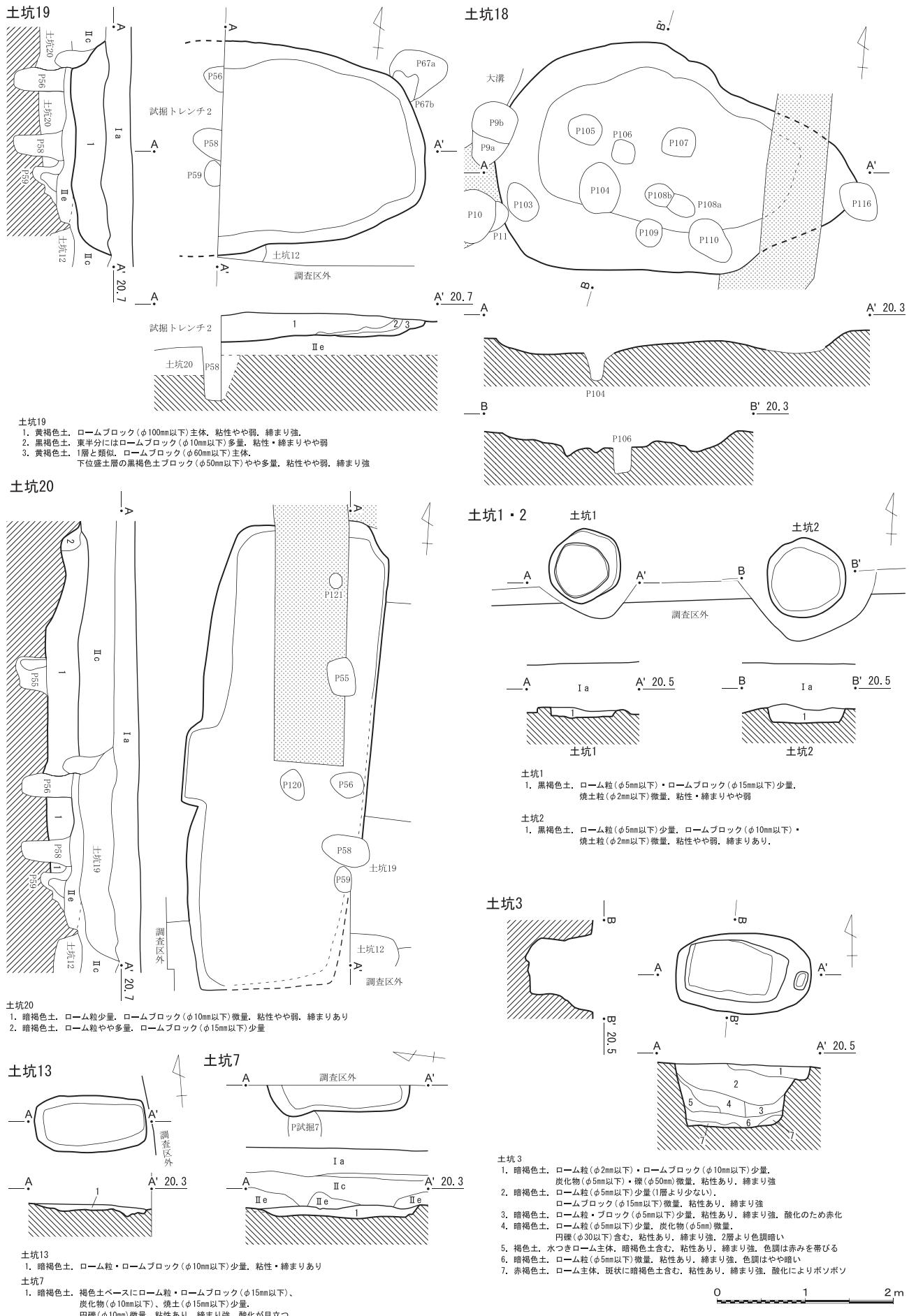
遺物は割菊文染付筒茶碗、素描染付碗、瀬戸・美濃系染付碗、蛇ノ目凹形高台皿、三彩土瓶など、1860年代が下限である。上絵で「大井」字と丸に「柏」字文が描かれた磁器小壺（160）は、南に隣接する旅籠「柏屋」からもたらされたものであろう。

土坑7

調査区南部分に位置する（規模は第19表参照）。



第65図 溝 (1/60)



第66図 土坑 (1/60)

深さ8cmのみが残存する。東側は調査対象外としたため、全体の形状は不明である。覆土中に炭化物と焼土の混入が目立った。

土坑13

調査区南西に位置する（規模は第19表参照）。

丸みのある長方形のプランを呈する土坑である。

底面はやや凹凸があり、東部分が窪む。深さ10cmのみが残存し、壁面は底面から連続するような立ち上がりの検出に止まった。本遺構に重なる位置関係で検出された土蔵跡との関連については不明である。

土坑18

調査区中央に位置する（規模は第19表参照）。

不整橢円形の浅い土坑である。底面は起伏があり、植栽痕であると考えられる。遺物の年代は、肥前系厚手碗、瀬戸・美濃系志野皿、肥前系陶器輪禿皿など18世紀前半に収まる。

土坑19

調査区南西部に位置する（規模は第19表参照）。

盛土中での確認であり、平面形はおそらく橢円形であろう。掘方はローム層に達していない。主たる覆土がロームブロックのみで構成されている点に特徴がある。底面は起伏が少なく、壁面は丸みのある立ち上がりで、大きく外傾して開く。

丹波系擂鉢の破片が出土しているが、基盤となる盛土層からは肥前系厚手碗、瀬戸・美濃系腰錆小服碗の破片などが出土した。

土坑20

調査区南西に位置する（規模は第19表参照）。

南北に長軸をもつ長方形の土坑である。底部は平坦で、西壁に幅約90cm、奥行き約30cmの張り出しがある。

遺物は出土していないが、土層の切り合いから、本調査地点では比較的古い段階の遺構に位置づけられる。

⑦土蔵跡（第61・65・67図）

調査区南西部に位置する（規模は第19表参照）。

南北幅3.5mで「口」字形のプランになると考えられる土蔵の布基礎跡である。溝8や盛土IIc層を切っている。幅70~80cmで溝状の掘方に、暗褐色土とローム土を交互に入念に搗き固めている。木材や石材を使用した捨土台は検出されていない。

「出火大類焼覺帳」（栗原家文書 大井郷土資料館蔵）によると、明治14（1881）年の大火の際、本調査地点が類焼したことを窺わせる記事が見出せる。

〔史料〕

（前略）

一 類焼 上組東側 新井庄三郎

一 同 同 新井伊之助

旅籠渡世

酒小売料理

一 同 同 塩野藤吉

（後略）

（栗原家文書「出火大類焼覺帳」）

新井伊之助の旅籠「柏屋」跡地は調査地点の南隣にある。本文書では罹災家屋の戸主名が類焼順に記されており、新井庄三郎の一項により、旅籠の北側にあるいずれかの建物が類焼したことがわかる。

しかし、今回の調査では明瞭な焼土面が確認されず、当該期に火災があったことを示す遺構も確認できていない。さらに、先述した土坑16では明治14年以前の遺物を欠くなどの画期は認められなかった（97頁）。

一方、口碑では明治14年の火災で火を受けたといわれる土蔵が近年まで現存し、撮影されていた（第67図）。今回検出された土蔵と同一建物であろう。すると、明治14年以降、土蔵が撮影された昭和50年代まで地表面はほぼ同レベルに保たれていたことになり、被災時の地表面や燐灰は、後の片付けにより痕跡を留めなかつたようである。

⑧ピット群（第61・68・69~71・82図、第22・23表）

P試掘1・P試掘2・P試掘4



第67図 第11地点の土蔵（1980年撮影）

調査区北部分に位置する。試掘調査時に1トレンチ内で検出されたピット列である。

径26~37cmのピットが3基、2.15~2.45m間隔（真々）で直線上に分布する（個々の規模については第20表参照）。深さや底面標高に規格性はないが、大井宿遺跡第9地点の調査で確認された約2.3m（7.5尺相当）間隔での分布が注目された。

調査区中央ピット群

調査区の中央西寄りで、東西約10m、南北約10mの範囲に、150基のピットが集中して検出された（個々の規模については第20表参照）。

ピット群の細分化は困難であるが、時期差を無視すると、およそ北東をコーナーとする鉤形で調査区の南西部部分を画すように分布している。約7.5尺間隔でP129・P7・P17b・P97が並ぶ線、同間隔でP125・P50g・P39cが並ぶ線、約6尺間隔でP124・P50f・P39a・P39b・P34・P92が並ぶ線の軸方向は、およそN-87°~88°-Wである。これらにほぼ直交して7.5尺間隔でP9a・P14・P44を結ぶ線があり、P10・P110・P34・P46を結ぶ長方形の軸も同様である。著しい切り合いはP39c・P50e・P87b・P100f付近など、約6.5尺間隔で集中して認められる。

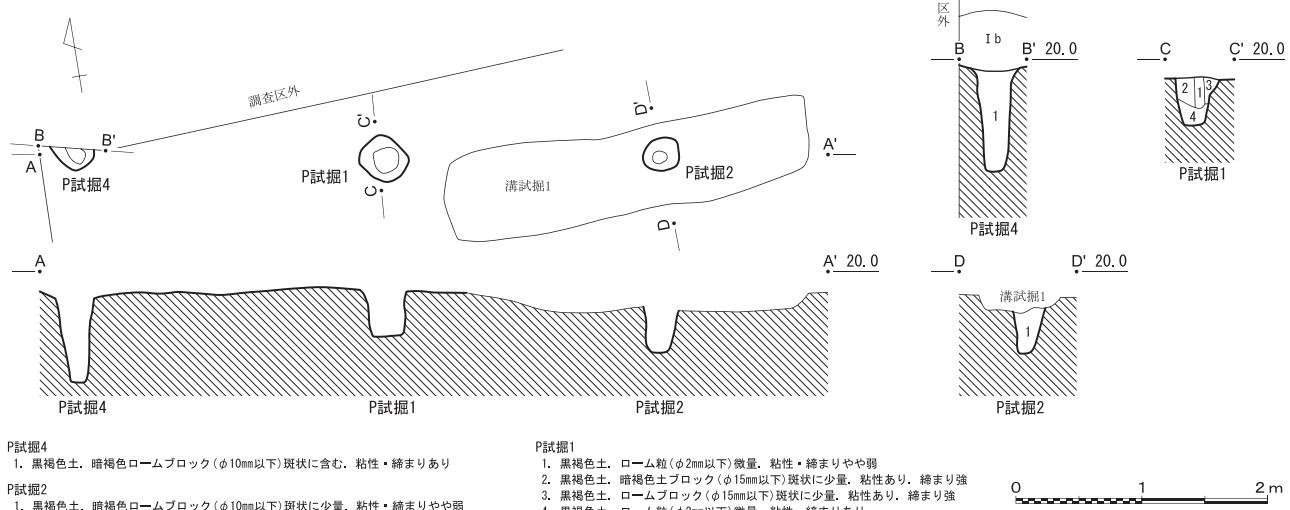
出土遺物は、17世紀後葉までのものが目立つ（162~165）。第66図（土坑20の土層断面）に表れているように、切り合いからも、大井宿の初期に重なる遺構群であると考えられる。

第21表 大井宿遺跡第11地点 整地層一覧表

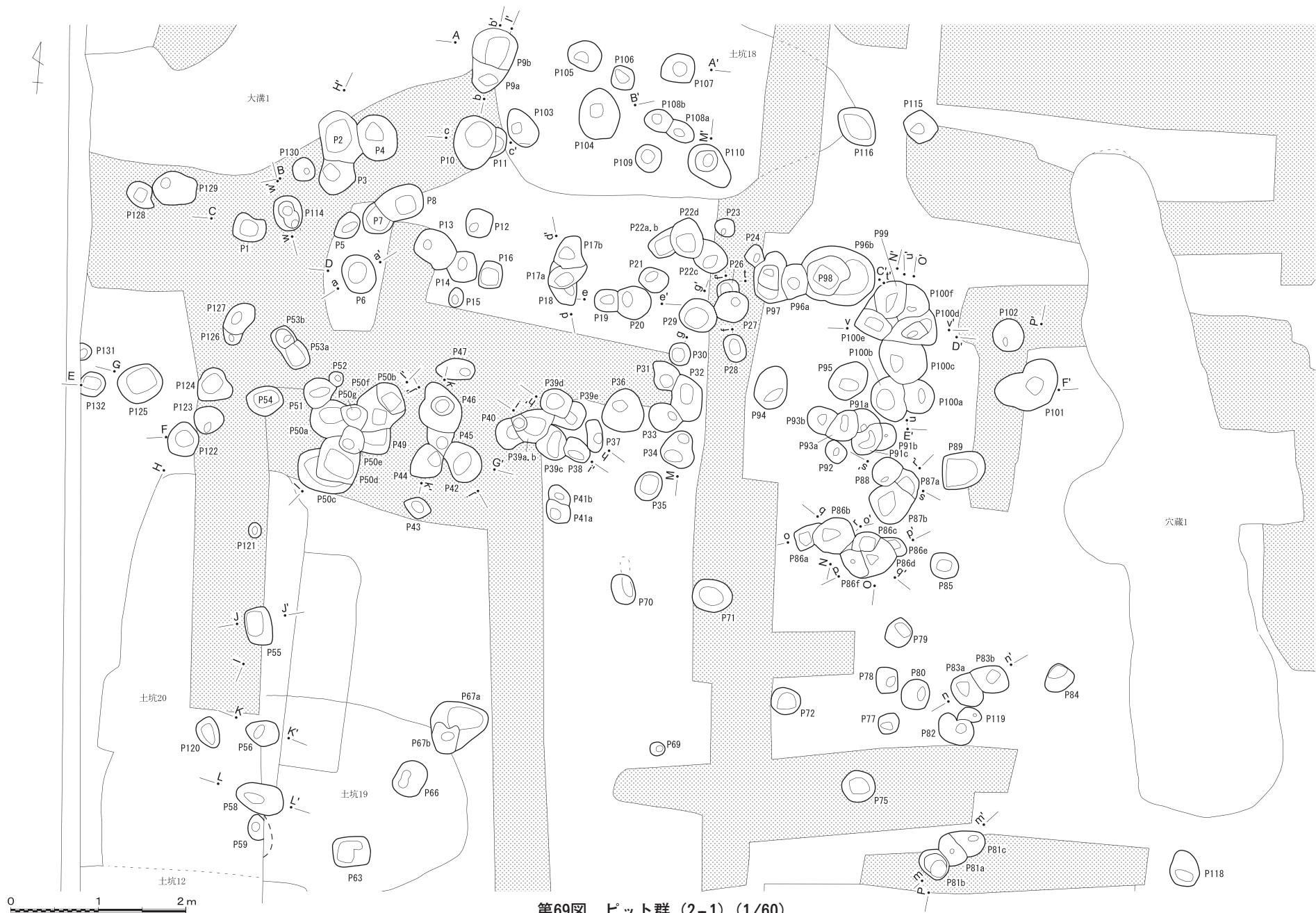
I a	暗褐色土。ロームブロック・礫・ビニールを含む現代の盛土及び攪乱。ローム主体の整地層をはさむ。粘性・締まりは多様。
I b	暗褐色土。ローム粒・ロームブロック・礫少量。焼土粒微量。現代の盛土及び耕作土。粘性・締まりは多様。
(この間に土坑16)	
II a	暗褐色土。ローム粒少量。礫やや多量。粘性・締まりあり。
II b	暗褐色土。ローム粒(Φ2mm以下)・焼土(Φ3mm以下)微量。礫(Φ40mm以下)少量。粘性・締まりあり。
(この間に大溝1)	
II c	暗褐色土。ローム粒少量。ロームブロック・礫微量。溝8付近で焼土(Φ20mm以下)・炭化物やや多量。粘性あり。締まり強。
(この間に溝8)	
II d	暗褐色土。ローム粒少量。ロームブロック(Φ10mm以下)・焼土(Φ5mm以下)・炭化物(5mm以下)微量。粘性あり。締まり強。
II e	暗褐色土。ローム粒少量。ロームブロック(Φ20mm以下)やや多量。焼土(Φ5mm以下)微量。粘性やや弱。締まり強。
(この間に調査区中央ピット群)	
II f	黒褐色土。ローム粒(Φ5mm以下)・ロームブロック(Φ10~5mm)少量。粘性やや弱。締まりあり
III	自然堆積の赤褐色ローム層

なお、『大井町史』によると、本陣と川越街道をはさんでほぼ向かい合う位置に昭和40年頃まで土墨が存在したという伝聞をふまえ、16世紀後葉に大井地域を開発した「大井四人衆」の一人、新井九郎左衛門尉の館との関連を指摘している。現況では、土墨の痕跡は無く、伝聞の信憑性自体が疑問である。しかし、今回の調査で、17世紀中には廃絶されるピット群や、大型の井戸（井戸1）が検出されたことは注目される。

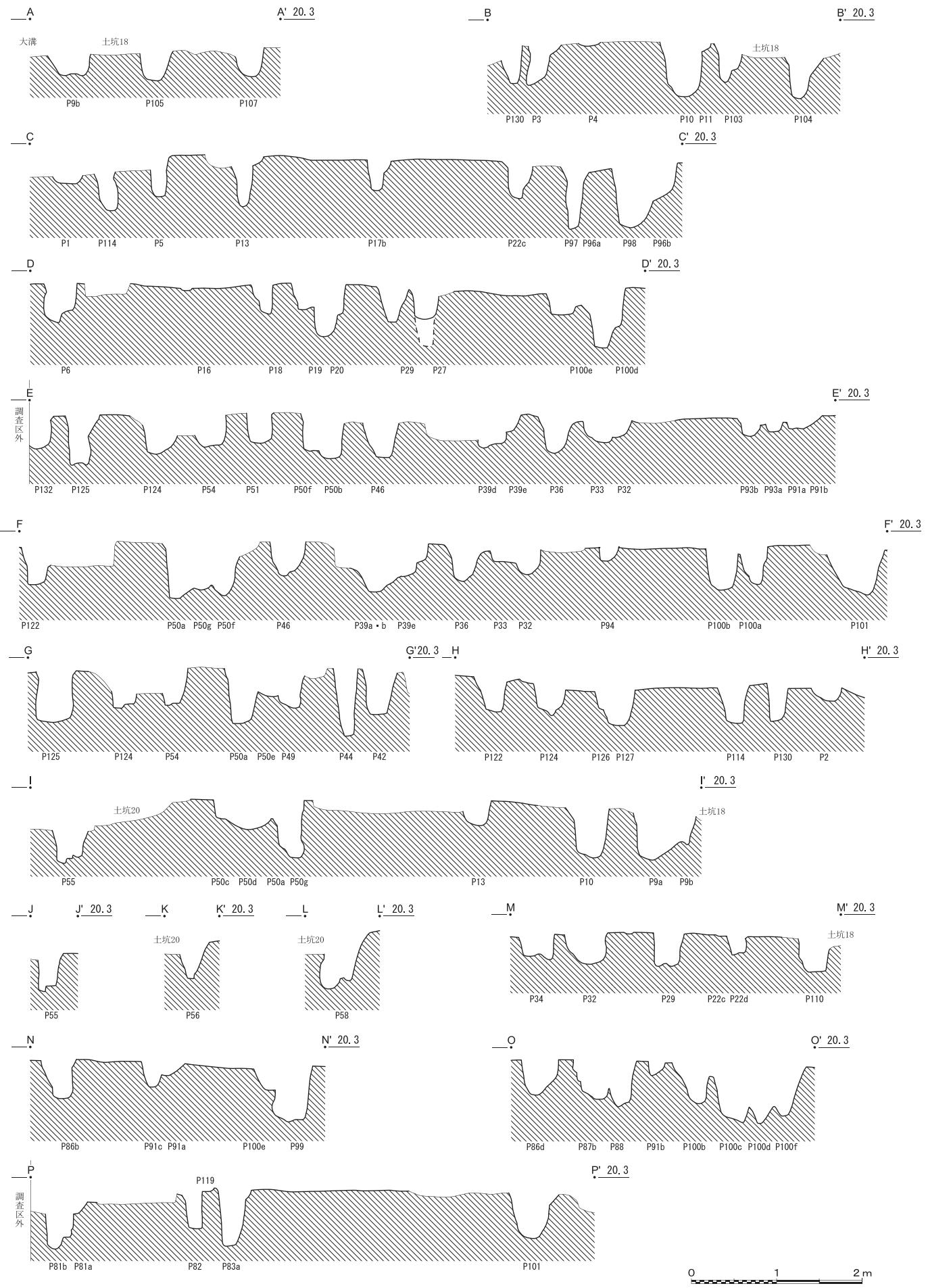
（越村 篤）



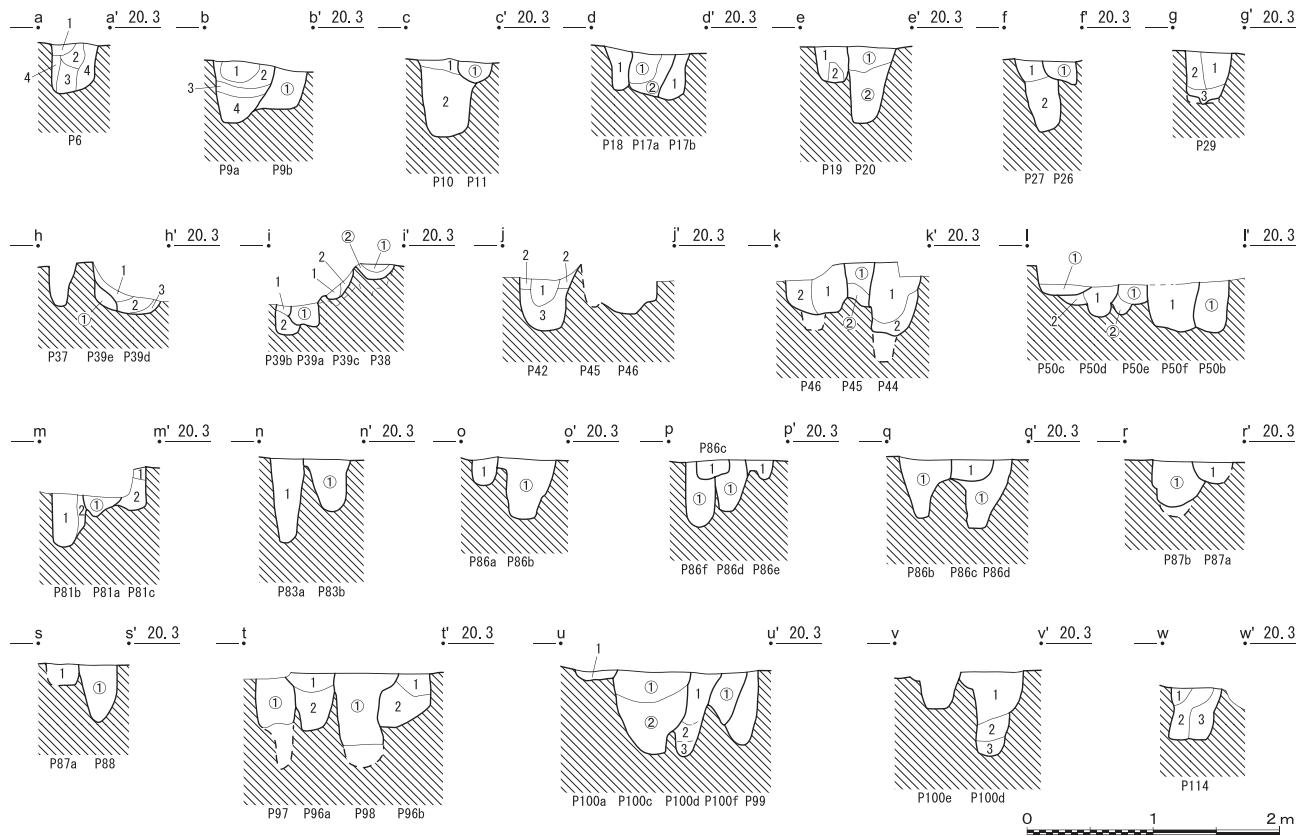
第68図 ピット群 (1) (1/60)



第69図 ピット群 (2-1) (1/60)



第70図 ピット群 (2-2) (1/60)



- P6
1. 暗褐色土。ローム粒多量。粘性・締まりあり
2. 暗褐色土。暗褐色土ブロック多量。粘性やや弱。締まりあり
3. 黒褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりあり
4. 暗褐色土。ローム粒・ブロック多量。粘性あり。締まり強
- P9a
1. 暗褐色土。ローム粒少量。ロームブロック多量。粘性あり。締まり強
2. 暗褐色土。ローム粒・ブロック少量。焼土・礫微量。粘性・締まりあり
3. 黑褐色土。ローム粒少量。ロームブロック多量。焼土・礫微量。粘性やや弱。締まりあり
4. 黑褐色土。ローム粒・ブロック少量。炭化物微量。粘性・締まりあり
- P9b
①. 暗褐色土。ローム粒少量。ロームブロック・炭化物微量。粘性・締まりあり
- P10
1. 暗褐色土。ローム粒やや多量。礫微量。粘性・締まりあり
2. 黑褐色土。ローム粒・シルト少量。粘性あり。締まりやや弱
- P11
①. 黄褐色土。ローム粒少量。ロームブロック多量。粘性あり。締まり強
- P17a
①. 黑褐色土。ローム粒・ブロック少量。粘性・締まりあり
②. 黄褐色土。ローム粒多量。ロームブロック少量。粘性あり。締まり強
- P17b
1. 黑褐色土。ソフトローム粒・ブロックやや多量。粘性・締まりあり
- P18
1. 黑褐色土。ソフトローム粒・ブロックやや多量。粘性・締まりあり
- P19
1. 黑褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりあり。柱痕
2. 暗褐色土。ローム粒多量。粘性・締まりあり
- P20
①. 黑褐色土。ローム粒・ブロックやや多量。粘性・締まりあり
②. 黑褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりあり
- P26
①. 黄褐色土。ローム粒やや多量。ロームブロック多量。粘性あり。締まり強
- P27
1. 暗褐色土。ローム粒多量。粘性・締まりあり
2. 黑褐色土。ローム粒・ブロックやや多量。粘性やや弱。締まり強
- P29
1. 黑褐色土。ローム粒多量。粘性・締まりあり
2. 暗褐色土。ローム粒少量。ロームブロック多量。粘性あり。締まり強
3. 黑褐色土。ローム粒やや多量。粘性・締まりあり
- P38
①. 黄褐色土。ローム粒多量。粘性・締まりあり
②. 黄褐色土。ローム粒やや多量。ロームブロック微量。粘性・締まりあり
- P39a
①. 黑褐色土。ローム粒少量。ロームブロック多量。粘性あり。締まり強
- P39b
1. 暗褐色土。ロームブロック少量。粘性あり。締まり強。
2. 黄褐色土。ローム粒少量。ロームブロックやや多量。粘性あり。締まり強
- P39c
1. 黑褐色土。ローム粒少量。ロームブロックやや多量。粘性あり。締まり強
2. 黄褐色土。ローム粒少量。粘性あり。締まりやや弱
- P39d
1. 黑褐色土。ロームブロック少量。粘性やや弱。締まりあり
2. 黑褐色土。ロームブロックやや多量。礫微量。粘性・締まりやや弱
3. 黄褐色土。ロームブロック多量。粘性あり。締まり強
- P42
①. 黄褐色土。ローム粒多量。粘性やや弱。締まりあり
- P44
1. 黄褐色土。ローム粒・ブロックやや多量。粘性やや弱。締まりあり
2. 黑褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりあり
- P45
①. 黄褐色土。ローム粒・ブロックやや多量。粘性・締まりあり
②. 黑褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりあり
- P46
1. 黑褐色土。ローム粒・ブロックやや多量。粘性あり。締まり強
2. 黑褐色土。ローム粒・ブロック少量。粘性・締まりやや弱
- P50b
①. 黑褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりやや弱
- P50c
①. 黄褐色土。ローム粒やや多量。粘性・締まりあり
- P50d
1. 黄褐色土。ローム粒少量。黄白色土粒・焼土・礫微量。粘性あり。締まり強
2. 黄褐色土。ローム粒少量。ロームブロック多量。粘性あり。締まり強
- P50e
①. 黄褐色土。ローム粒少量。ロームブロックやや多量。粘性・締まりあり
②. 黑褐色土。ロームブロック少量。粘性・締まりあり
- P50f
1. 黄褐色土。ローム粒少量。ロームブロックやや多量。粘性・締まりあり
- P81a
①. 黄褐色土。ロームブロック少量。粘性・締まりあり
- P81b
1. 黄褐色土。ローム粒・ブロック少量。粘性・締まりあり
2. 黄褐色土。ローム粒・ブロック少量。粘性あり。締まり強
- P83a
1. 黄褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりあり
- P83b
①. 黄褐色土。ローム粒含む。ロームブロック少量。粘性・締まりあり
- P86a
1. 黄褐色土。ローム粒少量。ロームブロックやや多量。粘性あり。締まり強
- P86b
①. 黄褐色土。ローム粒少量。ロームブロックやや多量。粘性あり。締まり強
②. 黄褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりやや弱
③. 黄褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりやや弱
- P86c
1. 黄褐色土。ローム粒・ブロック少量。粘性・締まりあり
- P86d
①. 黄褐色土。ローム粒・ブロック少量。粘性やや弱。締まりあり
- P86e
1. 黄褐色土。ローム粒やや多量。粘性・締まりあり
- P86f
①. 黄褐色土。ローム粒・ブロック少量。粘性やや弱。締まりあり
- P87a
1. 黄褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりあり
- P87b
①. 黄褐色土。ローム粒・ブロック多量。礫微量。粘性・締まりあり。ボソボソ
- P88
①. 黄褐色土。ローム粒やや多量。粘性・締まりあり
- P96a
1. 黄褐色土。ローム粒・ブロック少量。粘性・締まりあり
2. 黑褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりあり
- P96b
1. 黄褐色土。ローム粒多量。粘性あり。締まり強
2. 黄褐色土。ローム粒やや多量。粘性・締まりあり
- P97
①. 黄褐色土。ローム粒・ブロック少量。粘性・締まりあり
- P98
1. 黄褐色土。ローム粒多量。ロームブロックやや多量。粘性あり。締まり強
- P100a
1. 黄褐色土。ローム粒やや多量。粘性・締まりあり
- P100c
①. 黄褐色土。ローム粒やや多量。ロームブロック少量。粘性・締まりやや弱
②. 黄褐色土。ローム粒・ブロック少量。粘性・締まりやや弱
- P100d
1. 黄褐色土。ローム粒少量。粘性やや弱。締まりあり
2. 黑褐色土。ローム粒少量。粘性・締まり強
3. 黄褐色土。ローム粒少量。粘性やや弱。締まりあり
- P100f
①. 黄褐色土。ローム粒少量。ロームブロックやや多量。粘性やや弱。締まりあり
- P114
1. 黄褐色土。ローム粒多量。粘性あり。締まり強
2. 黑褐色土。ローム粒少量。粘性・締まりあり

第71図 ピット群 (2-3) (1/60)

大井宿遺跡第11地点の出土遺物

(第72~82図、第22・23表)

本地点から出土した遺物は、磁器・陶器・土器・土製品・瓦・石製品・木製品・金属遺物・ガラス製品・樹脂製品・革製品・骨角製品・動物遺体など総計2,791点である。そのほか壁土・炭化材等もみられる。さらに細かい分類ごとの数量は第22表を参照していただきとして、総体的に遺存状態の良いもの、数量の多いものは近代の遺物である。時期的な面からみると中世の遺物を若干含み、遺存状態は悪いものの近世の遺物がかなりの量でみられる。以下、遺構ごとに出土遺物をみていくが、掲載した個々の遺物については第23表出土遺物観察表を参照していただきたい。

穴蔵1 (1)

257点の遺物が出土しているが第22表をみてわかるように、型紙絵付碗、クロム青磁碗、銅版絵付の散蓮華を始めとして、各種ガラス製品など近代前葉の遺物が最新遺物である。しかし近世の遺物も小破片ながら多数存在する。17世紀前葉の志野織部皿、18世紀の厚手碗、19世紀前葉～中葉の端反碗、施釉土器の台付燈火受付皿など生活に密着した遺物である。図示した陶器（焼締）の甕は類例を知らず器形・生産地・生産年代ともに不明。

井戸1 (2~9)

18点の遺物が出土しており、そのうち8点を図示した。多くが中世から17世紀代のものであるが、図示しなかった遺物のなかに近代と思われる棟瓦も若干みられる。中心は17世紀第3四半期である。個別の遺物では、2の陶器が内外面とともに無釉で、外面底部に右回転の糸切り痕が残り、窯印と思われる十文字の線刻がある。器種は不明だが胎土から瀬戸・美濃産であることはわかる。遺物の組成からだけみると、大井宿の初期段階に重なる遺物群といえそうである。

大溝1 (10~20)

35点の遺物が出土している。磁器のコバルト染付碗、板ガラス等近代の遺物も出土しているが、これらはII b層からの混入と考えられ、主なものは図示した10~13の広東碗・端反碗、19の青土瓶蓋など19世紀前葉～中葉にかけての製品である。16の摺絵皿など18世紀の製品なども比較的遺存状態は良く残っているので、伝

世品として使用されていたのであろう。3点出土した土製品のうち図示した20は、江戸（東京）から多数出土しているが、ふじみ野市周辺では芥子面に比しあまりみられない泥面の一類、円盤状の面打である。モチーフは達磨と思われる。

土坑16（廃棄土坑）(21~158)

本地点で最も多く遺物が出土した遺構で、1,575点を数える。以下材質ごとに述べる。

陶磁器・土器 (21~125) 幕末から明治期にかかる端反碗、コバルト染付の端反碗、コバルト染付碗・皿、型紙絵付碗・皿、銅版絵付碗・皿、クロム青磁碗・小壺が大量に出土している。ただし、1点ゴム版絵付の皿が出土していることから、本遺構の廃絶は大正期に至る可能性もあるが、中心をなす碗・皿類がコバルト染付碗・皿、型紙絵付碗・皿であることから1880年代～1890年代が遺物群の中心年代であろう。また、遺物の量は単婚小家族で貯える量ではなく、皿が碗に比べて少ないものの、磁器・陶器を含めて爛徳利の多さや小壺の圧倒的な多さ、土瓶・急須・火鉢の多さを合わせて考えれば、こうした器種を必要とした需要層、すなわち旅籠屋や飲食業などを営む需要層が想定される。こうした需要層であっても製品には焼継が施されたものも目立つ。22の碗、53の碗蓋、76・82の皿などに焼継が施されている。そのほかの陶磁器類では125の花生が鮫肌の釉薬を施されている。鮫肌といえば勿来（福島県）の土瓶が著名であるが、この花生も勿来の製品であろうか。

土製品 (126~142) 飯事道具、泥面の、人形、笛等の玩具類が24点出土しているが、そのうち15点が泥面である。17点を図示した。126~140はふじみ野市周辺では「泥メンチ」と呼称されている、泥面の一類である芥子面で、本報告書ではさらに人物・動物等の「顔」のみをモチーフとするものを「面形」、全身・全容をモチーフとするものを「像形」に分けている（第23表）。126~138は裏面が平坦であり、後に紙となるメンコ遊びや、おはじき遊びの道具として用いられていたと考えられるが、139・140の獅子頭をモチーフとする芥子面については裏面の窪みが顕著であるため、「指の腹に唾でつけて指人形とする」（『嬉遊笑覧』）という、当初の用い方をするものと考えられる。

石製品（143～146） 143・144とも上州の流紋岩を用いた鎌研ぎ砥であるが、143は整形痕に平タガネ痕のみであるにも関わらず、144は平タガネ痕と櫛歯状工具痕が併存している。平タガネ痕から櫛歯状工具痕という上州砥石の変遷からすると、その中間に位置するものの可能性があり、今後の類例に注意を要する。なお143は片面に深い溝が施されており、使用の痕跡か固定のための装置か不明である。145は粘板岩製の砥石で仕上げ砥であろう。146は陸部のみの硯だが、縁は欠損している。また陸部に敲打痕が顕著で底裏に墨書きや線刻が施されている。

金属遺物（147～154） 147は煙管の吸口で、148は羅字のない延べ煙管である。149は鎌であるが鋒が著しい。150は中空で頂部が扇形を呈しており、体部が穿孔されている。用途は不明である。151～154は錢貨で、151と153が新寛永通宝、152が文久永宝、154が半錢銅貨で明治9（1876）年の年号が印されている。

ガラス製品（155～158） 173点出土しているが、ランプのホヤ、油壺は接合が困難な小破片も1点としているため実際の個体数は減少すると考えられる。それを除けば瓶類が最も多く31点出土し、中でも薬瓶が12点を数える。薬瓶2点、ワインボトル1点、ボタン1点の計4点を図示した。155・156はコルクで栓をする薬瓶であり、155の底裏には「^{かぎ}に万（両？）」の陽刻があるが、製造元等は不明である。157のワインボトルはキック（上げ底）がほとんどみられないのが特徴的である。成形時における割型の合せ目の線が口部～底部まで通っており、自動製瓶機で成形されたことを窺わせる。陽刻等の文字資料がないため生産年代は特定できないが、自動製瓶機で製造されたと仮定すれば大正末以降であると考えられる。158は白色不透明のガラス製のボタンであり、ボタンは8点出土している。ガラス製のボタンが工業的に生産されるようになつたのは、「昭和年代に入ってから（1926年～）」とされている（日本ガラス工業史編集委員会1950）。本遺構出土のガラス製品の生産年代は、1900年代～1930年代頃と推定される。

溝8（159）

25点の遺物が出土しているが、図示できたのは159の菊皿のみである。全体としては18世紀の遺物が主体

で、近代以降の製品はない。

土坑3（160）

13点の遺物が出土しており、160の小壺のみ図示できた。この小壺の見込みには文字が描かれるが、「大井」は読めるが、中心の文字は丸に「柏」だろうか。全体としては幕末の遺物が主体である。

P9a（161）

6点の遺物が出土しており、図示できたのは厚手碗Aのみである。全体としては近世の遺物が主体を占める。

P9b（162）

図示した志野皿のみの出土で、口縁部の小破片である。

P32（163）

図示した小壺のみの出土で、染付草花文、高台無釉という特徴から1640年代～1650年代の製品であろう。

P50a（164）

図示した志野皿のみの出土で、口縁部～体部の破片である。

P50b（165）

図示した志野皿のほか、瓦質の焙烙が出土している。

IIb層（166～175）

IIc層と混ざってしまった遺物を除いて467点の遺物が出土している。以下、材質ごとに述べる。

陶磁器・土器（166～171） 全体としては近世から明治期に至る遺物が出土しており、ゴム版絵付の碗や皿がみられないことから、遅くとも大正初期までの遺物であることがわかる。個別の遺物では169の瓦質片口鉢は口縁部の特徴から14世紀～15世紀の製品であろう。171は器形や調整等、江戸在地系の瓦質火鉢に類似するが、胎土が粗く北武藏を中心とする在地の製品であろう。

土製品（172） 飯事道具、泥面子等が6点出土している。図示した172は土坑16の項で述べたものと同じく、裏面が平坦なタイプの芥子面である。

石製品（173） 図示した板碑のほか、火打石や砥石が出土している。173の板碑は「定」の字のみ判読できる。ほかは不明。

金属遺物（174・175） 煙管・和釘・豆ランプ口金
とほかが出土している。図示したものは174の豆ランプ口金と175の錢貨で、後者は拓影では判読できないが「竜一銭銅貨」であることはかろうじて判読できる。

ガラス製品 22点出土し、瓶が最も多く9点を数える。ランプ・ホヤから簪、コップ、ボタン、ビー玉がみられ、生産年代の幅は広く1900年代～1940年代頃と推定される。

表土（176）

全体で336点の遺物が出土しているが、図示したのは176のつぼつぼのみである。「つぼつぼ」については本報告書の大井宿遺跡第9地点、土坑8の土製品の項で詳述しているのでそちらを参照されたい。176は壺形、ロクロ成形・左回転糸切底で精緻な作りの「江戸タイプ」である。他には近世の遺物から碍子やタイルといった現代の遺物まで様々な遺物が出土している。

そのほか図示できなかった遺構の遺物については、溝3、土坑18・19など近世の遺物のみがみられる。

（梶原 勝・前山由美子）

第22表 大井宿遺跡第11地点 出土遺物集計表

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
穴藏1	磁器	107	碗	35	厚手碗 筒茶碗 端反碗(瀬・美) 端反碗(コバルト) 湯呑み碗(瀬・美) 色絵碗(瀬・美) 型紙絵付碗 クロム青磁碗	7 1 5 1 7 1 11 2
			碗蓋	1		
			小坏	26		
			蕎麦猪口	1	(蛇ノ目凹形高台)	
			散蓮華	1	銅版絵付	
			大皿	1	染付大皿	
			皿	3	型紙絵付皿 不明	2 1
			小皿	1	型押線刻文小皿	
			鉢	4		
			蓋物蓋	3		
			段重	3		
			土瓶	2		
			急須	2		
			徳利	1		
			燭徳利	13		
			袋物	1		
			水滴	1		
			香油壺	1		
			香炉	3		
			御神酒徳利	2		
			タイル	1		
			不明	1		
陶器		56	碗	6	刷毛目・斑掛け碗 不明	2 4
			皿	4	志野織部皿 菊皿 不明	1 1 2
			鉢	8		
			片口鉢	2		
			練鉢・捏鉢	1		
			擂鉢	1	不明	
			行平鍋	2		
			土瓶	5	不明	
			土瓶蓋	2		
			急須	2	(万古) 不明	1 1
			徳利	4	灰釉・飴釉一升徳利 燭徳利 不明	1 2 1
			甕	9	常滑系甕 瀬戸・美濃系甕 不明陶器 不明炻器	1 4 2 2
			茶甕	1		
			燈火皿	1	(信楽)	
			香炉	3		
			植木鉢	2		
			鳥餌入れ	1		
			その他・不明	2		
土器		8	焰烙	3	瓦質	
			狹穴	1		
			台付焰火受付皿	1	施釉	
			植木鉢	3	瓦質 不明	2 1
土製品		2	不明	2		
瓦		12	棟瓦	11		
			軒棟瓦	1		
石製品		4	石臼	1		
			砥石	3		
木製品		1	漆器椀	1		
金属遺物		45	和釘	33		
			環状不明	1		
			刃物	1		
			不明鉄製品	9		
			不明銅製品	1		
ガラス製品		20	瓶	9	薬瓶 化粧瓶 不明	4 1 4
			ランプ	5	ホヤ 石笠	3 2
			板ガラス	2		
			卵立?	1		
			玩具	2	おはじき	
			不明	1		
壁土		*				
動物遺体		2	貝	2		
		合計		257		
井戸1	磁器	1	碗	1	三角高台碗	
	陶器	5	皿	1	志野織部皿	
			擂鉢	2	瀬戸・美濃系擂鉢	
				1	丹波系擂鉢	
			徳利	1	船徳利	
			不明	1		
土器		4	カワラケ	2		
			焰烙	2	瓦質	
瓦		1	棟瓦	1		
石製品		5	板碑	5		
動物遺体		1	貝	1		
		合計		17		
出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
大溝1	磁器	17	碗	12	厚手碗 丸碗 端反碗(瀬・美) 端反碗(コバルト) 広東碗(瀬・美) コバルト染付碗	2 2 2 4 1 1
			小坏	1		
			散蓮華	1		
			皿	3	蛇ノ目凹形高台皿 不明	2 1
陶器		8	碗	2	雜巾掛け碗 腰錫小服	1 1
			皿	1	壠絵皿	
			擂鉢	1	堺系擂鉢	
			土鍋	1		
			土瓶	1	(信楽)	
			土瓶蓋	1	青土瓶蓋	
			水甕	1		
土器		5	火鉢	1	瓦質	
			行平鍋	1		
			焰烙	1	土師質	
			火鉢	1		
			不明	1		
土製品		3	泥面子	1		
			不明	2		
金属遺物		1	不明	1		
ガラス製品		1	板ガラス	1		
炭化材		*				
		合計		35		
土坑16 (廃棄土坑)	磁器	804	碗	225	丸碗 厚手碗 筒茶碗 広東碗(肥前) 端反碗(肥前) 端反碗(瀬・美) 端反碗(コバルト) 湯呑み碗(瀬・美) コバルト染付碗 型紙絵付碗 銅版絵付碗 クロム青磁碗 釉下色絵碗 不明	27 14 8 1 5 30 26 17 28 25 2 4 2 36
			碗蓋	11		
			小坏	206		
			蕎麦猪口	5	(基箱底) (蛇ノ目凹形高台) (型紙絵付)	1 3 1
			散蓮華	4		
			大皿	2	染付大皿	
			皿	69	薄手U字高台皿 染付輪禪皿 蛇ノ目凹形高台皿 変形皿(ロクヨ) コバルト染付皿 型紙絵付皿 銅版絵付皿 ゴム版絵付皿 釉下色絵皿 不明	1 2 11 1 1 32 2 1 1 1 13
			小皿	7	染付小皿 型押文小皿 型押線刻文小皿 コバルト染付小皿	2 2 2 1
			鉢	10	丸鉢 蛇ノ目凹形高台鉢 八角鉢(コバルト) 不明	1 2 1 6
			蓋物鉢	3		
			蓋物蓋	2		
			蓋物小鉢	2		
			段重	4		
			土瓶	12		
			土瓶蓋	1		
			急須	25		
			急須蓋	8		
			燭徳利	135		
			水滴	1		
			香炉	1		
			仏飯具	4		
			御神酒徳利	2		
			合子	1		
			紅皿・紅猪口	3		
			植木鉢	1		
			不明	60		
陶器		279	碗	10	天目茶碗 京焼風陶器碗 腰錫小服 小杉茶碗 柳茶碗 太白手広東碗 湯呑み碗 不明	1 1 1 1 1 2 1 2 2
			小坏	2		

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
土坑16 (廃棄土坑)	陶器		皿	19	緑釉皿	1
					志野皿	4
					志野織部皿	1
					菊皿	1
					京焼風陶器皿	2
					青緑釉輪禪皿	2
					刷毛目皿	2
					太白手呉須絵皿	1
					太白手蛇ノ目凹形高台皿	1
					イッチャン輪花皿(飯能)	2
					不明	2
	鉢	2	刷毛目鉢	1		
					不明	1
	小鉢	2	(飯能)	1		
					不明	1
	片口鉢	9				
	練鉢・捏鉢	3				
	擂鉢	7	丹波系擂鉢	1		
					堺系擂鉢	6
	土鍋	4				
	行平鍋	2				
	鉗皿	1				
	土瓶	52	青土瓶	2		
					三彩土瓶	1
					ヨバルト染付土瓶	4
					不明	45
	土瓶蓋	10				
	急須	47				
	急須蓋	15				
	徳利	21	灰釉・飴釉一升徳利	1		
					灰釉・飴釉五合徳利	5
					べこかん徳利	2
					燭徳利	10
					由右衛門徳利	1
					不明	2
	壺	6				
	甕	10	知多古窯系甕	3		
					常滑	3
					瀬戸・美濃系甕	3
					不明	1
	茶甕	1				
	水甕	3				
	手水鉢	1				
	燈火皿	11				
	燈火受付皿	9				
	秉燭	1				
	水盤	2				
	水滴	1				
	香炉	1				
	仏飯具	2				
	花生	1				
	植木鉢	5				
	不明	19				
土器						
	53 カワラケ	2				
	皿	1	施釉			
	片口鉢	2	(中世)			
	土鍋	1	施釉			
	焙烙	19	土師質	5		
					瓦質	14
	火鉢	2	土師質	1		
					瓦質	1
	焜炉風口	2	土師質			
	火消し壺	1				
	火消し壺蓋	1				
	燈火皿	2	施釉			
	植木鉢	15	土師質	7		
					瓦質	8
	不明	5				
陶製品						
土製品	1 飯事道具	1	皿			
	24 飯事道具	1	不明			
	泥面子	15	芥子面			
	人形	1	天神			
	動物像	1	招き猫			
	笛	1				
	不明	5				
瓦						
	74 軋用砥	2				
	敷瓦	2				
	棟瓦	68				
	軒棟瓦	2				
石製品						
	15 石臼	2				
	砥石	3				
	硯	1				
	石板	1				
	礎石	8				
金属遺物						
	152 錢貨	5	寛永通宝	2		
					文久永宝	1
					半錢銅貨	1
					不明	1
	煙管	3	吸口	2		
					延べ煙管	1
	和釘	57				
	刃物	2	鎌状			
	飾り金具	1				
	円形不明	2				
	棒状不明	21				
	板状不明	55				
	その他銅製品	3				
	不明	3				

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
土坑16 (廃棄土坑)	ガラス製品	173	瓶	31	ビール瓶	1
					洋酒瓶	2
					酒瓶	1
					ワインボトル	8
					薬瓶	12
					不明	7
					薬瓶蓋	2
					スピード	1(目薬用)
					グラス・コップ	3
					ランブ	43
					ホヤ	32
					石等	1
					油壺	10
					ボタン	8
					鏡または額縁	1
					板ガラス	68
					ガラス棒	1
					不明	15
	木製品	*	炭化材	*		
					焼襷	*
					壁土	*
					合計	1,575
溝3	陶器	2	擂鉢	1	不明	
					徳利	1
					合計	2
溝8	磁器	13	碗	9	丸碗	2
					筒茶碗	2
					小広東碗	2
					広東碗(肥前)	1
					不明	2
					小杯	1
					皿	2
					香炉	1
	陶器	8	碗	5	刷毛目碗	1
					薄茶碗	1
					不明	3
					菊皿	1
					瀬戸・美濃系甕	
	土器	4	焰烙	1	燭火皿	1
					土瓶	1
					徳利	2
					合計	25
土坑3	磁器	9	碗	5	丸碗	1
					筒茶碗	1
					湯呑み碗(瀬・美)	2
					不明	1
					小杯	2
					皿	1
	陶器	4	擂鉢	1	蛇ノ目凹形高台皿	
					型押文小皿	
					合計	13
土坑18	磁器	8	碗	7	厚手腕	
					仏飯具	1
	陶器	4	碗	1	不明	
					志野皿	1
					輪禪皿	1
					不明	1
	土器	2	カワラケ	1		
					焙烙	1
					瓦質	
					合計	14
土坑19	陶器	1	擂鉢	1	丹波系擂鉢	
					合計	1
P2	土器	1	焰烙	1	瓦質	
					合計	1
P4	磁器	1	碗	1	厚手腕	
					土器	2
					焰烙	2
					瓦質	
					合計	3
P9a	磁器	3	碗	3	厚手腕	1
					不明	2
	陶器	2	碗	1	刷毛目碗	
					皿	1
					志野皿	
	金属遺物	1	銅線	1		
					合計	6
P9b	陶器	1	皿	1	志野皿	
					合計	1
P11	陶器	1	甕	1	瀬戸・美濃系甕	
					合計	1
P18	土師器	1	甕	1		
					合計	1
P22d	陶器	1	皿	1	志野皿	
					合計	1
P32	磁器	1	小杯	1		
					合計	1
P50a	陶器	1	皿	1	志野皿	
					合計	1
P50b	陶器	1	皿	1	志野皿	
					土器	1
					焰烙	1
					瓦質	
					合計	2
P86(a~f)	陶器	1	不明	1		
					合計	1
P101	土器	1	焰烙	1	瓦質	
					合計	1
P試掘7	土器	1	カワラケ	1		
					壁土	
					合計	1
II b層	磁器	225	碗	132	丸碗	16
					厚手腕	13
					朝顔形碗	1

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
表土	陶器		花瓶	1		
			植木鉢	3		
			不明	8		
	土器	32	カワラケ	3		
			焼格	7		
			焜炉	2		
			火鉢	5		
			火消し壺	1		
			植木鉢	5	土師質	1
					瓦質	4
			不明	9		
	土製品	1	つぼつぼ	1		
	瓦	15	棟瓦	15		
	金属遺物	8	棒状不明	4		
			管状不明	1		
			板状不明	2		
			不明	1		

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
表土	ガラス製品	22	瓶	7	薬瓶	2
					化粧瓶	1
					一升瓶	2
					不明	2
	瓶蓋	1				
	ランプ	4	ホヤ	2		
			石笠	2		
	板ガラス	7				
	不明	3				
	樹脂製品	1				
	動物遺体	1	貝	1		
	木製品	*	炭化材	*		
	礫土	*				
	合計	336				
	総計					2,791

第23表 大井宿遺跡第11地点 出土遺物観察表

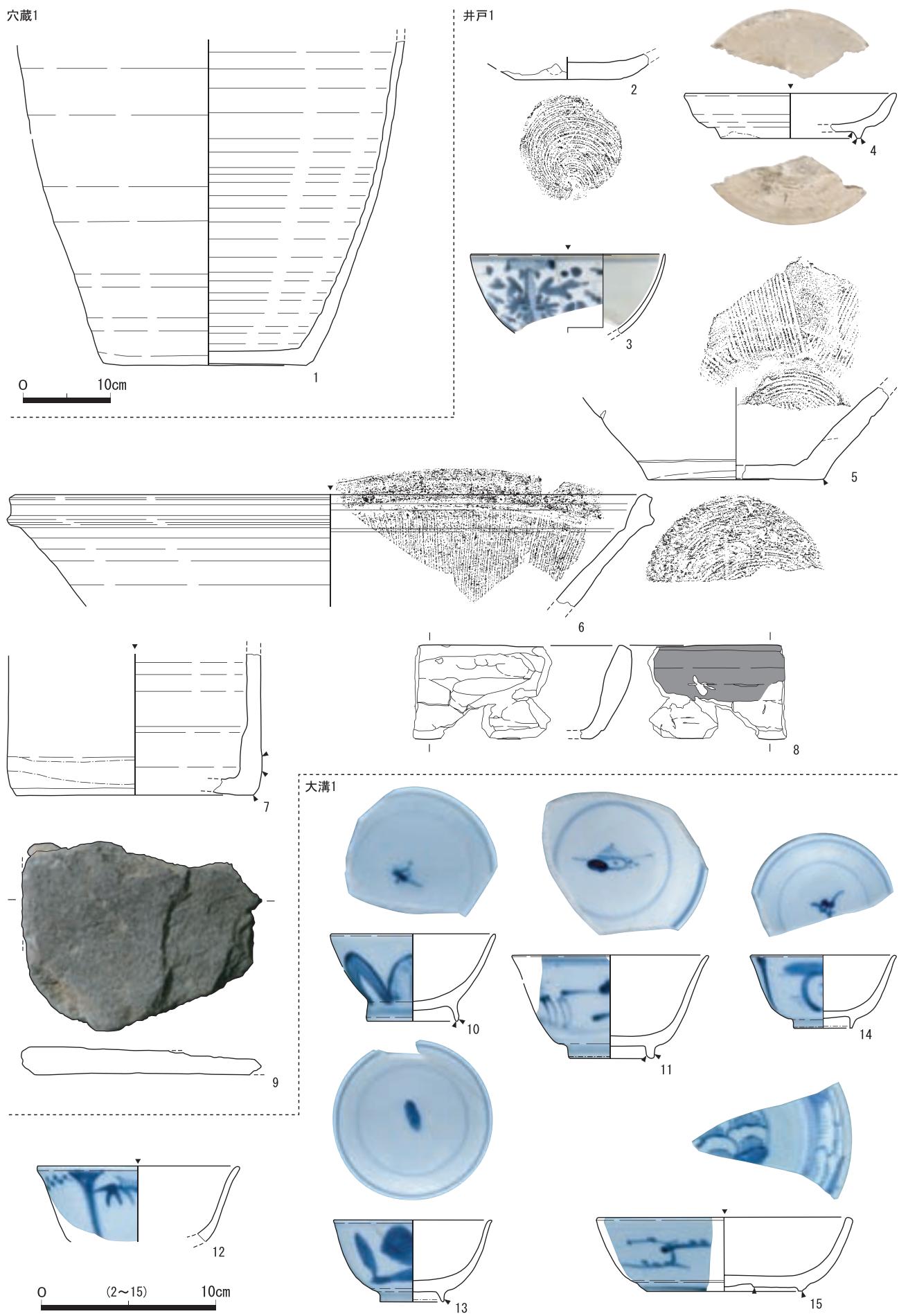
図版番号	遺物番号	出土地点	種別・器種 細分等	単位cm 推定* 残存〇			技法／文様／その他	推定生産地	推定年代	残存／備考
				口径	底径	器高				
72	1	穴藏1	陶器(焼締)・甕	—	23.2	(37.3)	紐積みロクロ成形、外面下部ヘラケズリ、体部ヨコナデ、内面ヨコナデ	不明	不明	1/2以下
	2	井戸1	陶器・不明	—	6.0	(1.5)	ロクロ成形、糸切底(右)、十文字の印(窯印?)	瀬戸・美濃	不明	1/2以下 内面摩滅
	3	井戸1	磁器・碗 三角高台碗	*11.0	—	(4.5)	ロクロ成形／染付、外面山・蝶・樹木文、内面口縁部二重圈線、見込み二重圈線	肥前	1650年代～ 1670年代	1/2以下
	4	井戸1	陶器・皿 志野織部皿	*12.0	*8.0	2.6	ロクロ成形／長珪石釉、高台内袖拭き取り・目痕1	瀬戸・美濃	1600年代～ 1670年代	1/2以下
	5	井戸1	陶器・擂鉢 瀬戸・美濃系擂鉢	—	*10.0	(5.3)	紐積みロクロ成形、糸切底(右)／鋸釉、底裏拭き取り、櫛目17本单位	瀬戸・美濃		1/2以下／内・外縁煤付着
	6	井戸1	陶器(焼締)・擂鉢 丹波系擂鉢	*38.0	—	(6.4)	紐積みロクロ成形／櫛目8本单位	丹波	17世紀後半 ～ 18世紀前半	1/2以下
	7	井戸1	陶器・徳利 船徳利	—	*13.6	(8.0)	ロクロ成形／鉄釉、底裏拭き取り	瀬戸・美濃	17世紀	1/2以下
	8	井戸1	土器(瓦質)・焰烙	—	—	(5.4)	型打紐積み成形、耳部剥れ、外面ヨコナデ	在地	中世	破片 外面煤付着
	9	井戸1	石製品・板碑	長 (10.9)	幅 (13.7)	厚 (1.6)	緑泥片岩	不明	不明	破片
	10	大溝1	磁器・碗 広東碗	*9.3	5.0	5.0	ロクロ成形／染付、畳付無釉、外面芭蕉文、内面口縁部二重圈線、見込み一重圈線・帆掛け舟文	瀬戸・美濃	1800年代～	1/2
	11	大溝1	磁器・碗 端反碗D	*11.2	4.7	5.9	ロクロ成形／染付、畳付無釉、外面口縁部二重圈線、体部海浜風景文、内面口縁部二重圈線、見込み二重圈線・文様あり	瀬戸・美濃	1840年代～ 1850年代	1/2以上
	12	大溝1	磁器・碗 端反碗D	*11.5	—	(4.3)	ロクロ成形／染付、畳付無釉、外面口縁部一重圈線、体部徳文、内面口縁部帶線・一重圈線、見込み一重圈線	瀬戸・美濃	1840年代～ 1850年代	1/2以下
	13	大溝1	磁器・碗 端反碗E	8.9	3.7	4.7	ロクロ成形／染付、畳付無釉、外面口縁部一重圈線、毛彫り鳥文、内面口縁部二重圈線、見込み二重圈線・毛彫り葉文	瀬戸・美濃	1850年代～ 1860年代	1/2以上
	14	大溝1	磁器・碗 端反碗E	8.2	3.3	4.2	ロクロ成形／染付、畳付無釉、外面口縁部一重圈線、体部海浜風景文、内面口縁部一重圈線、見込み一重圈線・花文	瀬戸・美濃	1850年代～ 1860年代	1/2以上
	15	大溝1	磁器・皿 蛇ノ目凹高台皿A	*14.2	*8.9	4.2	ロクロ成形／染付、内面体部文様あり、見込み丸文、外 面裏文様唐草文、高台一重圈線	肥前	1740年代～ 1840年代	1/2以下
73	16	大溝1	陶器・皿 摺絵皿	12.0	7.0	2.8	ロクロ成形、高台貼付／灰釉、腰部以下無釉、鉄絵、内 面見込み溶着痕あり	瀬戸・美濃	1710年代～ 1800年代	1/2以上
	17	大溝1	陶器・土鍋	*15.0	—	(5.1)	ロクロ成形／透明釉、外面腰部以下無釉	不明	19世紀	破片／外面腰 部煤付着
	18	大溝1	陶器・土瓶	8.9	7.5	9.7	ロクロ成形、二耳・注口貼付、内面3穴／灰釉、白泥菊花 文、受部・外面腰部以下無釉	信楽	19世紀	1/2以上 外面腰部以下 煤付着
	19	大溝1	陶器・土瓶蓋 青土瓶蓋	受部径 6.3	最大径 9.0	3.3	ロクロ成形、摘み貼付／銅綠釉、下面無釉	不明	1820年代～ 1860年代	ほぼ完形 受部アーチ状 打ち欠き
	20	大溝1	土製品・泥面子 面打	径 2.2	厚 0.9	—	型押し後型抜き成形／モチーフ：達磨？／表裏面に雲母 残存／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	ほぼ完形
	21	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 丸碗E	11.0	3.6	5.2	ロクロ成形／コバルト染付、畳付無釉、外面よろけ縞 文、高台内一重圈線・銘あり、内面口縁部二重圈線、見 込み一重圈線・文様あり	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
	22	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 丸碗E	10.5	4.2	5.8	ロクロ成形／染付、畳付無釉、外面よろけ縞文、内面口 縁部二重圈線、見込み一重圈線・福字文	瀬戸・美濃	1800年代～ 1860年代	1/2以上 焼締、高台内 焼締印あり
	23	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 丸碗F	9.2	3.2	4.2	ロクロ成形／色絵(赤・青・緑・黄)、畳付無釉、外面 花文、内面口縁部一重圈線、見込み文様あり	瀬戸・美濃	1800年代～	1/2以上 稚児茶碗
	24	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 丸碗F	9.8	3.5	5.0	ロクロ成形／色絵(赤・青・緑)、畠付無釉、外 面宝珠・花文、内面口縁部一重圈線、見込み文様あり	瀬戸・美濃	1800年代～	1/2以上 稚児茶碗

図版番号	遺物番号	出土地点	種別・器種 細分等	単位cm 推定* 残存()			技法／文様／その他	推定生産地	推定年代	残存／備考
				口径	底径	器高				
73	25	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 端反碗	10.3	3.8	6.0	ロクロ成形／染付、畳付無釉、外面唐草文他、内面口縁部雷文、見込み一重圈線・松竹梅丸文	肥前	1800年代～ 1860年代	1/2以上
	26	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 端反碗	10.4	*4.2	6.0	ロクロ成形／染付、畠付無釉、外面壽字文他、内面口縁部雷文、見込み一重圈線・松竹梅丸文	肥前	1800年代～ 1860年代	1/2以上
	27	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 端反碗	12.2	4.9	6.8	ロクロ成形／染付、畠付無釉、砂付着、外面鶴の親子文、内面口縁部帶文、見込み一重圈線・壽字文	肥前	1800年代～ 1860年代	ほぼ完形
	28	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 端反碗E	10.6	3.6	5.6	ロクロ成形／染付、畠付無釉、外面草花文、内面口縁部連鎖文、見込み一重圈線・壽字文	瀬戸・美濃	1850年代～ 1860年代	ほぼ完形
	29	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 端反碗E	*10.6	3.8	5.8	ロクロ成形／染付、畠付無釉、砂付着、外面花文他、内面口縁部連鎖文、見込み一重圈線・文様あり	瀬戸・美濃	1850年代～ 1860年代	1/2
	30	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 端反碗E	10.2	3.6	5.3	ロクロ成形／染付、畠付無釉、外面草花文、内面口縁部連鎖文、見込み一重圈線・壽字文	瀬戸・美濃	1850年代～ 1860年代	1/2以上
	31	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 端反碗G	10.4	3.5	5.3	ロクロ成形／コバルト染付、畠付無釉、外面草花文、内面連鎖文、見込み一重圈線・壽字文	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
74	32	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 コバルト染付碗	11.2	4.0	5.2	ロクロ成形／コバルト染付、畠付無釉、外面花文、内面口縁部二重圈線	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2
	33	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 コバルト染付碗	10.9	3.2	5.2	ロクロ成形／コバルト染付、畠付無釉、内・外面草花文	瀬戸・美濃	1870年代～	ほぼ完形
	34	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 コバルト染付碗	*9.8	3.5	4.7	ロクロ成形／コバルト染付、畠付無釉、外面よろけ縞文、高台内一重圈線	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
	35	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 コバルト染付碗	10.7	3.6	4.7	ロクロ成形／コバルト染付、畠付無釉、外面花文、高台内一重圈線、内面口縁部二重圈線・花文	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
	36	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 コバルト染付碗	10.5	3.5	5.3	ロクロ成形／コバルト染付、畠付無釉、外面植物文、高台内一重圈線・銘あり、内面口縁部一重圈線・見込み二重圈線・植物文	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
	37	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	10.9	3.5	5.4	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面花文他、内面三巴文	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
	38	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	11.7	4.0	5.4	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面微塵草文、内面口縁部瓔珞文	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
	39	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	11.3	3.9	5.1	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面桜花文他、内面口縁部瓔珞文	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
	40	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	*10.2	*3.8	4.6	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面桜花文他、内面口縁部瓔珞文	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以下
	41	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	9.8	3.2	3.9	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面丸文他、内面口縁部文様あり	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2
	42	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	*11.6	*4.0	5.0	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面宝珠文他、内面口縁部瓔珞文	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2
	43	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	11.8	4.1	4.7	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面窓枠文他、内面口縁部瓔珞文	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
	44	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	11.2	4.0	5.2	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面微塵草文、内面口縁部瓔珞文、見込み一重圈線・松竹梅丸文	瀬戸・美濃	1880年代～	ほぼ完形
	45	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	*10.6	3.5	5.3	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面花文他、内面花文	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
	46	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	10.9	3.6	6.2	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面花文他、内面口縁部瓔珞文、見込み二重圈線・松竹梅丸文	肥前	1880年代～	1/2以上
	47	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	10.8	3.6	4.3	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、内・外面微塵草文	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
75	48	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 型紙絵付碗	*10.5	3.6	4.9	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面植物文他、内面口縁部瓔珞文、見込み一重圈線・松竹梅丸文	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以下
	49	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 湯呑み碗	6.2	4.3	7.0	ロクロ成形／コバルト染付、畠付無釉、外面人物文、高台蓮弁文、高台内一重圈線・銘あり、内面見込み樹木文	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上、底部焼成後穿孔
	50	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗 湯呑み碗	*6.4	4.0	7.3	ロクロ成形／コバルト染付、クロム青磁、畠付無釉、外 面文帶、体部三本沈線	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
	51	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗蓋 コバルト染付碗蓋	受部径 9.2	上面径 3.7	2.4	ロクロ成形／コバルト染付、畠付無釉、外面草花文、高 台内一重圈線・銘あり、内面見込み二重圈線・草花文	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
	52	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗蓋 型紙絵付碗蓋	受部径 *10.2	上面径 4.0	2.6	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面窓枠文他、高台 内一重圈線・銘あり、内面口縁部瓔珞文	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
	53	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・碗蓋 型紙絵付碗蓋	受部径 8.7	上面径 3.5	2.5	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面文様あり、高台 内一重圈線・銘あり、内面口縁部瓔珞文、見込み一重圈 線・松竹梅丸文	肥前	1880年代～	ほぼ完形／焼 継、高台内焼 継印あり
	54	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	—	2.4	(2.0)	ロクロ成形／染付、錦書（藍）、畠付無釉、内面「苗間 ／岡田屋」、外面高台内銘あり	瀬戸・美濃	1830年代～ 1860年代	1/2
	55	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	6.0	2.2	2.4	ロクロ成形／染付、錦書（藍）、畠付無釉、内面瓢箪 内「井」・鳥文、隠し文字「可之王や」、外面高台内銘 あり	瀬戸・美濃	1830年代～ 1860年代	1/2以上
	56	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	5.4	3.4	6.0	ロクロ型打成形／染付、畠付無釉、外面松竹梅文他、高 台内一重圈線・銘「白雲堂／周兵製」、内面口縁部風景 文	瀬戸・美濃	1840年代～	1/2以上
	57	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	6.0	2.5	3.0	ロクロ型打成形／白磁、畠付無釉	瀬戸・美濃	1850年代～ 1860年代	ほぼ完形
	58	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	5.2	3.0	6.1	ロクロ型打成形／コバルト染付、畠付無釉、外面風景 文、高台内一重圈線	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
	59	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	6.3	2.9	4.8	ロクロ成形／コバルト染付、畠付無釉、外面口縁部・腰 部二重圈線、高台一重圈線、高台内一重圈線・銘あり	瀬戸・美濃	1870年代～	ほぼ完形
	60	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	*6.4	*2.6	4.5	ロクロ型打成形／コバルト染付、畠付無釉、外面草花 文、高台内一重圈線	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以下
	61	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	6.5	2.8	4.7	ロクロ成形／コバルト染付、畠付無釉、外面草花文	瀬戸・美濃	1870年代～	ほぼ完形
	62	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	5.4	3.2	5.8	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、外面桜花文、内面見 込み文様あり	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
	63	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	*6.4	3.1	4.9	ロクロ型打成形／銅版絵付、畠付無釉、外面富士・風景 文	瀬戸・美濃	1890年代～	1/2以上
	64	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	*6.6	*3.2	4.7	ロクロ型打成形／銅版絵付、畠付無釉、外面花文	瀬戸・美濃	1890年代～	1/2以下

図版番号	遺物番号	出土地点	種別・器種 細分等	単位cm 推定* 残存()			技法／文様／その他	推定生産地	推定年代	残存／備考
				口径	底径	器高				
75	65	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	*7.0	3.0	4.0	ロクロ成形／銅版絵付、畳付無釉、外面口縁部帶文、体部桐・菊花・短冊文、高台内一重圈線	瀬戸・美濃	1890年代～	1/2以下
	66	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	5.2	3.6	5.3	ロクロ成形／銅版絵付、畳付無釉、外面口縁部帶文、体部人物文、高台内一重圈線	瀬戸・美濃	1890年代～	1/2以上
	67	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	6.2	6.1	4.6	ロクロ成形／外面クロム青磁、畳付無釉、外面緑・鉄絵・イッヂン「白盛」、草花文・文字文あり、高台内銘あり	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
	68	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	7.7	3.0	3.5	ロクロ型打成形／クロム青磁、高台内無釉	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
	69	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	7.2	3.3	3.8	ロクロ型打成形／外面クロム青磁、高台内無釉	瀬戸・美濃	1880年代～	1/2以上
	70	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	8.0	3.4	3.8	ロクロ成形／外面クロム青磁、高台内無釉、内面コバルト染付同心円文・見込み「富貴長命」	瀬戸・美濃	1880年代～	ほぼ完形
	71	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小壺	5.3	3.5	6.2	ロクロ成形／コバルト染付、クロム青磁、畠付無釉、外面緑・鉄絵、文字「赤王枝」、高台内一重圈線・銘「口又造」内面コバルト染付口縁部二重圈線・草文	瀬戸・美濃	1880年代～	ほぼ完形
	72	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・小壺	5.4	3.0	3.3	ロクロ成形／長珪石釉、高台部無釉、内面見込み目痕3	瀬戸・美濃	不明	1/2以上
	73	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・小壺	*6.8	4.0	3.5	ロクロ成形／灰釉、外面腰部以下無釉	瀬戸・美濃	不明	1/2以上
	74	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・散蓮華	長 (8.2)	幅 5.0	(3.6)	手づくね成形／銅版絵付、体部下半無釉、内面唐草文	瀬戸・美濃	1890年代～	1/2
	75	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・散蓮華	長 (6.2)	幅 5.8	器高 (2.3)	型打成形／緑釉、内面見込み陰刻龍文	京都	不明	1/2
76	76	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・皿 蛇ノ目凹形高台皿B	14.5	8.5	4.9	ロクロ型打成形／輪花／染付、内面蛸唐草文、見込み帶文・松竹梅丸文、外面裏文様唐草文	肥前	1780年代～ 1860年代	1/2以上 焼繼、高台内 焼繼印あり
	77	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・大皿 染付大皿	35.0	21.3	5.2	ロクロ成形／染付、畠付無釉、内面海浜風景文、外面裏文様唐草文、高台内一重圈線・ハリ痕7	肥前	18世紀 ～19世紀	1/2以上
	78	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・皿	*18.0	11.5	3.4	ロクロ型打成形／輪花／染付、畠付無釉、内面窓桙牡丹唐草文他・見込み丸文、外面裏文様如意頭唐草文、高台内一重圈線・底裏銘二重桙「福」、底裏ハリ痕3	肥前	1680年代～ 1750年代	1/2以上
	79	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・皿 蛇ノ目凹形高台皿B	13.6	8.0	4.0	ロクロ型打成形／輪花／染付、口銚、内面樓閣山水文	肥前	1780年代～ 1860年代	1/2以上
77	80	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・皿 蛇ノ目凹形高台皿C	13.1	7.8	2.5	ロクロ型打成形／輪花／染付、口銚、内面海浜風景文	瀬戸・美濃	1800年代～ 1860年代	1/2以上
	81	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・皿	15.4	7.8	2.5	ロクロ成形／染付、畠付無釉、内面花蝶文、外面裏文様雲文、高台内一重圈線・底裏銘あり	瀬戸・美濃	1800年代～ 1870年代	ほぼ完形
	82	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・皿	27.8	15.8	4.7	ロクロ型打成形／輪花／染付、畠付無釉、内面花鳥文、外面高台内ハリ痕6	肥前	近世	1/2以上 焼繼、高台内 焼繼印あり
	83	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・皿 薄手U字高台皿	20.0	11.8	3.5	ロクロ成形／染付、畠付無釉、内面花鳥文、外面裏文様梅枝文	肥前	近世	1/2以上
	84	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・皿 型紙絵付皿	14.5	9.0	4.3	ロクロ成形／輪花、蛇ノ目凹形高台／型紙絵付、内面微塵唐草文、見込み帶文・松竹梅丸文、外面コバルト染付唐草文	肥前	1880年代～	1/2以上
	85	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・皿 型紙絵付皿	12.3	7.3	1.9	ロクロ成形／型紙絵付、畠付無釉、内面六歌仙文	瀬戸・美濃	1880年代～	ほぼ完形
78	86	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小皿 染付小皿	*10.4	5.7	3.2	ロクロ型打成形／輪花／染付、畠付無釉、内面微塵唐草文、見込み帶文・松竹梅丸文、外面裏文様唐草文、高台内一重圈線・底裏銘「大明年製」	肥前	1800年代～ 1860年代	1/2以上
	87	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小皿 染付小皿	10.0	6.1	2.5	ロクロ型打成形／輪花／染付、畠付無釉、口銚、内面風景文	肥前	不明	1/2以上
	88	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小皿 型押線刻文小皿	9.0	5.2	1.8	型打成形／白磁、畠付無釉、内面見込み線刻壽字文	瀬戸・美濃	1855年代～ 1860年代	ほぼ完形 壽文皿
	89	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・小皿 コバルト染付小皿	10.4	6.7	2.2	ロクロ成形／コバルト染付、畠付無釉、内面鳥・風景文、外面裏文様樹木文	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
	90	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・鉢 蛇ノ目凹形高台鉢	15.5	7.2	5.0	ロクロ成形、蛇ノ目凹形高台／白泥、型紙絵付、内面花文、唐子文、外面花文	肥前	1880年代～	1/2
	91	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・段重	14.0	8.3	6.0	ロクロ成形、腰部受部あり／染付、口縁部・受部無釉、外面口縁部一重圈線、体部葡萄文、腰部一重圈線	肥前	近世	完形
	92	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・段重	13.5	9.0	6.6	ロクロ成形／染付、口縁部・畠付無釉、外面口縁部一重圈線、体部葡萄文、腰部二重圈線、高台脇一重圈線	肥前	近世	1/2以下
	93	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・片口鉢	22.0	11.6	10.4	ロクロ成形、片口貼付／灰釉、外面腰部以下無釉、内面見込み目痕5、外面体部に溶着痕あり	瀬戸・美濃	不明	1/2以上
	94	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・爛徳利	—	5.4	(7.9)	ロクロ成形／染付、内面・外面底裏無釉、外面花文、底裏墨書きあり	瀬戸・美濃	不明	1/2以下
	95	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・爛徳利	3.2	5.6	17.3	ロクロ成形／コバルト染付、内面・底裏無釉、外面文様あり	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
79	96	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・爛徳利	2.8	5.6	18.3	ロクロ成形／コバルト染付、内面・底裏無釉、外面草花文	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
	97	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・爛徳利	*5.4	7.3	22.3	ロクロ成形／外面銅綠釉、内面透明釉、底裏無釉	不明	不明	1/2以上
	98	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・練鉢	22.6	14.6	14.7	ロクロ成形／灰釉、銅綠釉流し掛け、底裏無釉、内面見込み目痕4残存	瀬戸・美濃	不明	1/2以上
	99	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・土鍋	16.2	8.0	7.1	ロクロ成形、二耳貼付／外面透明釉、白泥の上にコバルト染付、受部・外面腰部以下無釉	不明	1870年代～	1/2以上／外面 腰部以下煤付着
	100	土坑16 (廃棄土坑)	土器・焙烙	*39.4	—	(4.3)	紐積み成形、底裏縮目	江戸近郊	不明	1/2以下／外面 煤付着
101	101	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・卸皿	長 (16.3)	幅 10.4	2.4	型打成形／鉄釉、口唇部・外面無釉、底部布目痕あり	不明	不明	1/2以上

図版番号	遺物番号	出土地点	種別・器種 細分等	単位cm 推定* 残存()			技法／文様／その他	推定生産地	推定年代	残存／備考
				口径	底径	器高				
79	102	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・土瓶 コバルト染付土瓶	9.5	9.0	11.5	ロクロ成形、二耳貼付、内面3穴／外面白泥の上に透明釉、コバルト染付、内外面腰部以下無釉、底裏墨書あり	益子？	1870年代～	1/2以上
	103	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・土瓶 コバルト染付土瓶	7.8	7.2	9.8	ロクロ成形、二耳・注口貼付、内面3穴／外面透明釉、白泥の上に鉄絵、コバルト染付、内面・外面腰部以下無釉	不明	1870年代～	1/2以上 底裏煤付着
	104	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・土瓶蓋 青土瓶蓋	受部径 5.5	7.8	2.2	ロクロ成形、摘み貼付／銅緑釉、下面無釉	不明	1820年代～	1/2以上
	105	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・急須蓋	受部径 3.0	上面径 6.2	1.9	ロクロ成形、摘み貼付、焼成前穿孔1、糸切痕(右)／透明釉、白泥、染付、下面無釉	不明	不明	1/2以上
	106	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・土瓶蓋	受部径 7.0	最大径 8.9	3.9	ロクロ成形、摘み貼付、焼成前穿孔1／灰釉、染付、白泥流し、下面無釉、上面8本沈線	不明	不明	1/2以上 受部にアーチ状の打ち欠きあり
	107	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・土瓶蓋	受部径 6.4	最大径 8.5	2.3	ロクロ成形、摘み貼付／白泥、鉄絵、受部以下無釉	不明	不明	1/2以上
	108	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・土瓶蓋 コバルト染付土瓶蓋	受部径 8.5	最大径 11.2	3.8	ロクロ成形、摘み貼付／白泥、コバルト染付、下面無釉	益子？	近代	1/2以上
	109	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・土瓶蓋 三彩土瓶蓋	受部径 7.0	最大径 9.4	3.1	ロクロ成形、摘み貼付／透明釉、緑色絵の具、下面無釉、上面目痕2残存	不明	不明	1/2以上
	110	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・急須	6.7	6.8	6.6	ロクロ成形、把手・注口貼付、内面7穴／コバルト染付、受部・底裏無釉、外面網目文	肥前	1870年代～	1/2以上
	111	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・急須	6.4	6.5	8.8	ロクロ成形、把手・注口貼付、内面7穴／コバルト染付、受部・底裏無釉、外面頭部連続渦巻き文、体部花文	肥前	1870年代～	1/2以上 112の身
	112	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・急須蓋	受部径 6.2	—	2.3	ロクロ成形、摘み貼付、焼成前穿孔1／コバルト染付、受部無釉、上面草文・連続渦巻き文	肥前	1870年代～	1/2以上 111の蓋
	113	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・急須蓋	受部径 6.1	—	2.2	ロクロ成形、摘み貼付、焼成前穿孔1／染付、受部無釉、上面文様あり	肥前	不明	完形
	114	土坑16 (廃棄土坑)	陶器(焼締)・急須	5.0	5.0	7.7	型打成形、把手・注口貼付、内面20穴、把手3穴／外面布目痕、陰刻花文	万古	不明	1/2以上
	115	土坑16 (廃棄土坑)	陶器(焼締)・急須	5.4	5.5	6.7	型打成形、把手・注口貼付、内面41穴、把手透かし彫り／口縁部、注口部金彩、外面布目痕、口縁部雷文、把手左刻印・分銅形内に「生川」・他に刻印あり	万古	不明	1/2以上
	116	土坑16 (廃棄土坑)	陶器(焼締)・急須蓋	5.0	—	(1.5)	型打成形、摘み貼付、焼成前穿孔2	万古	不明	ほぼ完形
	117	土坑16 (廃棄土坑)	陶器(焼締)・急須蓋	*6.8	—	1.8	型打成形、摘み貼付、焼成前穿孔2／灰釉流し掛け、陽刻松枝文	万古	不明	1/2以下
80	118	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・甕 瀬戸・美濃系甕	12.8	12.6	18.4	ロクロ成形／鉄釉、黒釉流し掛け、高台部無釉	瀬戸・美濃	不明	ほぼ完形
	119	土坑16 (廃棄土坑)	陶器(焼締)・壺	9.7	10.0	13.0	ロクロ成形／受部あり、底裏溶着痕	備前	不明	1/2以上
	120	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・水盤	*29.0	14.4	5.3	ロクロ成形／灰釉、高台部無釉、内面目痕7	瀬戸・美濃	不明	1/2以下
	121	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・秉燭	5.3	3.6	3.1	ロクロ成形、燈芯台貼付、糸切底(右)／鉄釉、外面腰部以下無釉	瀬戸・美濃	不明	ほぼ完形 燈芯台煤付着
	122	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・仏飯具	*5.7	3.8	4.8	ロクロ成形、脚部貼付／コバルト染付、底裏無釉、外面菊花文	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
	123	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・仏飯具	5.9	3.6	5.3	ロクロ成形、脚部貼付／色絵(赤・青・茶)、底裏無釉、外面文様あり	肥前	不明	1/2以上
	124	土坑16 (廃棄土坑)	磁器・植木鉢	7.7	3.8	5.6	ロクロ成形、底部焼成前穿孔、高台部アーチ状の切り込みあり／コバルト染付、内面体部下半・高台内無釉、外面部花文	瀬戸・美濃	1870年代～	1/2以上
	125	土坑16 (廃棄土坑)	陶器・花生	12.2	10.0	30.0	ロクロ成形、二耳貼付／鉄釉、鮫肌、内面・外面高台無釉	勿来?	不明	1/2以上
	126	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(面形)	長 2.7	幅 2.2	厚 0.6	型抜き成形／モチーフ：恵比寿／裏面に指頭圧痕／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	完形
	127	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(面形)	長 2.1	幅 1.7	厚 0.6	型抜き成形／モチーフ：お多福／表面に雲母残存／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	完形
	128	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(面形)	長 2.6	幅 2.4	厚 0.9	型抜き成形／モチーフ：鬼／裏面に指頭圧痕、側面、裏面に串穴(2)／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	完形
	129	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(面形)	縦 (2.0)	横 (2.5)	厚 0.8	型抜き成形／モチーフ：鬼／裏面に指頭圧痕、串穴(2)／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	1/2以上
	130	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(面形)	長 2.5	幅 2.0	厚 1.0	型抜き成形／モチーフ：鳥天狗／裏面に指頭圧痕、側面に串穴(1)／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	完形
	131	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(面形)	縦 (2.5)	横 (2.2)	厚 0.7	型抜き成形／モチーフ：猿／胎土橙褐色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	1/2以上
	132	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(面形)	長 2.7	幅 2.3	厚 0.8	型抜き成形／モチーフ：達磨？／裏面に指頭圧痕／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	完形
	133	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(面形)	長 (2.7)	幅 (2.1)	厚 0.8	型抜き成形／モチーフ：ひょっとこ／側面に串穴(1)／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	1/2以上
	134	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(面形)	長 2.5	幅 2.2	厚 0.9	型抜き成形／モチーフ：ひょっとこ／裏面に串穴(2)／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	完形
	135	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(面形)	長 2.4	幅 (2.3)	厚 0.8	型抜き成形／モチーフ：ひょっとこ／裏面に指頭圧痕／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	1/2以上
	136	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(面形)	長 2.7	幅 2.3	厚 0.8	型抜き成形／モチーフ：阿修羅？／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	完形
	137	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(像形)	長 3.3	幅 2.0	厚 0.8	型抜き成形／モチーフ：福禄寿／胎土橙褐色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	ほぼ完形
	138	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 芥子面(像形)	長 4.7	幅 2.6	厚 0.9	型抜き成形／モチーフ：魚／裏面尾部分に串穴(1)／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	完形
	139	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 面形	縦 2.9	横 3.4	厚 1.4	型抜き成形／モチーフ：獅子頭／裏面に指頭圧痕、窪み顎著／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	完形
	140	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・泥面子 面形	縦 3.1	横 3.1	厚 1.4	型抜き成形／モチーフ：獅子頭／裏面に指頭圧痕、窪み顎著／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	ほぼ完形
	141	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・人形 天神	幅 6.5	厚 3.6	7.1	型合せ成形(前後)／中空／内部に胎土片／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	完形

図版番号	遺物番号	出土地点	種別・器種 細分等	単位cm 推定* 残存〇			技法／文様／その他	推定生産地	推定年代	残存／備考
				口径	底径	器高				
80	142	土坑16 (廃棄土坑)	土製品・動物像 招き猫	幅 (3.6)	厚 (1.8)	(4.0)	型合せ成形(前後)／中空／内面に指頭圧痕／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	1/2以下
81	143	土坑16 (廃棄土坑)	石製品・砥石	長 (8.6)	幅 (3.6)	厚 (2.4)	側面平タガネ痕、上面窪みあり／流紋岩	上州	17世紀～ 18世紀	1/2以上
	144	土坑16 (廃棄土坑)	石製品・砥石	長 (9.5)	幅 3.0	厚 3.3	側面櫛歯状工具痕、平タガネ痕／流紋岩	上州	17世紀～ 18世紀	1/2以上
	145	土坑16 (廃棄土坑)	石製品・砥石	長 21.8	幅 7.8	厚 1.5	側面ノコギリ痕あり／粘板岩	不明	不明	1/2以上
	146	土坑16 (廃棄土坑)	石製品・硯	長 (6.3)	幅 (6.2)	器高 (2.1)	陸部敲打痕、底裏墨書・線刻文字「口村用／造」／粘板岩	不明	不明	1/2以下
	147	土坑16 (廃棄土坑)	金属遺物(真鍔)・ 煙管・吸口	長 10.0	羅宇径 1.1	吸口径 0.5	鍛造	不明	不明	ほぼ完形
	148	土坑16 (廃棄土坑)	金属遺物・煙管	長 13.7	火皿径 1.1	吸口径 0.7	鍛造／延べ煙管	不明	不明	ほぼ完形
	149	土坑16 (廃棄土坑)	金属遺物(鉄)・鎌状	長 20.9	幅 4.5	厚 1.5	鍛造	不明	不明	1/2以上
	150	土坑16 (廃棄土坑)	金属遺物(鉛)・ 飾り金具	長 3.8	幅 (1.9)	厚 (0.9)	鍛造	不明	不明	1/2以上
	151	土坑16 (廃棄土坑)	金属遺物・錢貨 寛永通宝	外径 2.2	穿径 0.6	厚 0.2	鋳造	不明	18世紀	1/2以上
	152	土坑16 (廃棄土坑)	金属遺物・錢貨 文久永宝	外径 2.8	穿径 0.65	厚 0.2	鋳造／裏面青海11波	不明	文久3(1863) 年～	ほぼ完形
	153	土坑16 (廃棄土坑)	金属遺物・錢貨 寛永通宝	外径 2.2	穿径 0.6	厚 0.2	鋳造	不明	近世	ほぼ完形
	154	土坑16 (廃棄土坑)	金属遺物・錢貨 半錢銅貨	外径 2.3	厚 0.2	—	鋳造／「大日本／明治九年／1/2 SEN」	不明	近代	ほぼ完形
	155	土坑16 (廃棄土坑)	ガラス製品・瓶 薬瓶	1.1	2.2	5.3	型吹き成形(割型)、口縁部切り離し後無調整／無色・透明／底部陽刻「一(かぎ)に万」／気泡有り／コルク栓	不明	1900年代～ 1910年代	ほぼ完形
	156	土坑16 (廃棄土坑)	ガラス製品・瓶 薬瓶	1.4	2.7	6.0	型吹き成形(割型)、口縁部切り離し後無調整／無色・透明／気泡有り／コルク栓	不明	1900年代～ 1910年代	完形
	157	土坑16 (廃棄土坑)	ガラス製品・瓶 ワインボトル	2.5	7.2	30.2	型吹き成形(製瓶機)／深緑色・透明／気泡有り／底部平坦(キックなし)／コルク栓／ボルドー型	不明	近代	1/2以上
	158	土坑16 (廃棄土坑)	ガラス製品・ボタン	径 1.1	厚 0.3	穴径 0.1	押型(プレス)成形／白色・不透明／糸通し穴4	不明	1910年代～ 1920年代	完形
82	159	溝8	陶器・皿 菊皿	—	*6.6	(2.1)	ロクロ成形／灰釉、高台無釉、内面放射状・円形二重圈線、内面目痕2	瀬戸・美濃	1670年代～ 1740年代	1/2以下 高台煤付着
	160	土坑3	磁器・小壺	*6.4	*2.6	2.7	ロクロ成形／染付、錦書(青)、置付無釉、見込み「大井」と丸に「柏」、底裏鉢かすかにみえる	瀬戸・美濃	1830年代～ 1860年代	1/2以下
	161	P9a	磁器・碗 厚手碗A	—	3.7	(3.7)	ロクロ成形／染付、置付無釉・砂付着、外面文様あり	肥前	1750年代～ 1800年代	1/2以下
	162	P9b	陶器・皿 志野皿	—	—	(2.2)	ロクロ成形／長珪石釉、口唇部釉ハゲ	瀬戸・美濃	1590年代～ 1660年代	破片
	163	P32	磁器・小壺	*5.2	2.3	3.7	ロクロ成形／染付、高台無釉、外面草花文	肥前	1640年代～ 1650年代	1/2以上
	164	P50a	陶器・皿 志野皿	*12.0	—	(2.5)	ロクロ成形／長石釉	瀬戸・美濃	1590年代～ 1660年代	破片
	165	P50b	陶器・皿 志野皿	—	—	(2.0)	ロクロ成形／長石釉	瀬戸・美濃	1590年代～ 1660年代	破片
	166	IIb層	磁器・碗蓋 端反碗蓋	受部径 *8.8	上面径 3.6	2.7	ロクロ成形／染付、置付無釉、外面口縁部・腰部一重圈線、体部花に丸文、内面口縁部雷文、見込み一重圈線・松竹梅丸文	肥前	1800年代～ 1860年代	1/2以上
	167	IIb層	磁器・小壺	7.3	2.4	3.3	ロクロ成形／染付、置付無釉、外面草花文	肥前	不明	1/2以上
	168	IIb層	磁器・蕎麦猪口C	—	*5.3	(4.5)	ロクロ成形・蛇ノ目凹形高台／染付、外面蛸唐草文、腰部二重圈線・蓮弁文	肥前	1780年代～ 1860年代	1/2以下
	169	IIb層	土器(瓦質)・片口鉢	*28.0	—	(6.7)	紐作り回転成形、内面ナデ・外面ナデ・指頭圧痕	在地	14世紀～ 15世紀	1/2以下
	170	IIb層	陶器(焼締)・插鉢 丹波系插鉢	—	—	(4.0)	紐積みロクロ成形、櫛目6本単位	丹波	17世紀中葉 ～ 18世紀前半	破片
	171	IIb層	土器(瓦質)・火鉢	*16.5	13.1	8.6	ロクロ成形・三足貼付(残存2)、外面口縁部一重沈線・ミガキ、体部下半ケズリ	在地	19世紀	1/2以下
	172	IIb層	土製品・泥面子 芥子面(面形)	縦 1.8	横 1.9	厚 0.8	型押し成形／モチーフ：頬被りをした男性／裏面に指頭圧痕／胎土橙色	江戸近郊	1790年代～ 1890年代	完形
	173	IIb層	石製品・板碑	長 (21.1)	幅 (9.0)	厚 (2.2)	「口定」／綠泥片岩			破片
	174	IIb層	金属遺物・ 豆ランブロ金	径 2.1	芯穴径 *0.5	(2.0)	ネジ部真鑑／口金部鉄／上部に穿孔あり			1/2以上
	175	IIb層	金属遺物・錢貨 童一錢銅貨	外径 2.8	厚 0.2	—	鋳造	不明	近代	ほぼ完形
	176	表土	土製品・つぼつぼ	2.1	1.8	2.2	ロクロ成形／糸切底(左)／胎土橙色	江戸近郊	1800年代～	完形



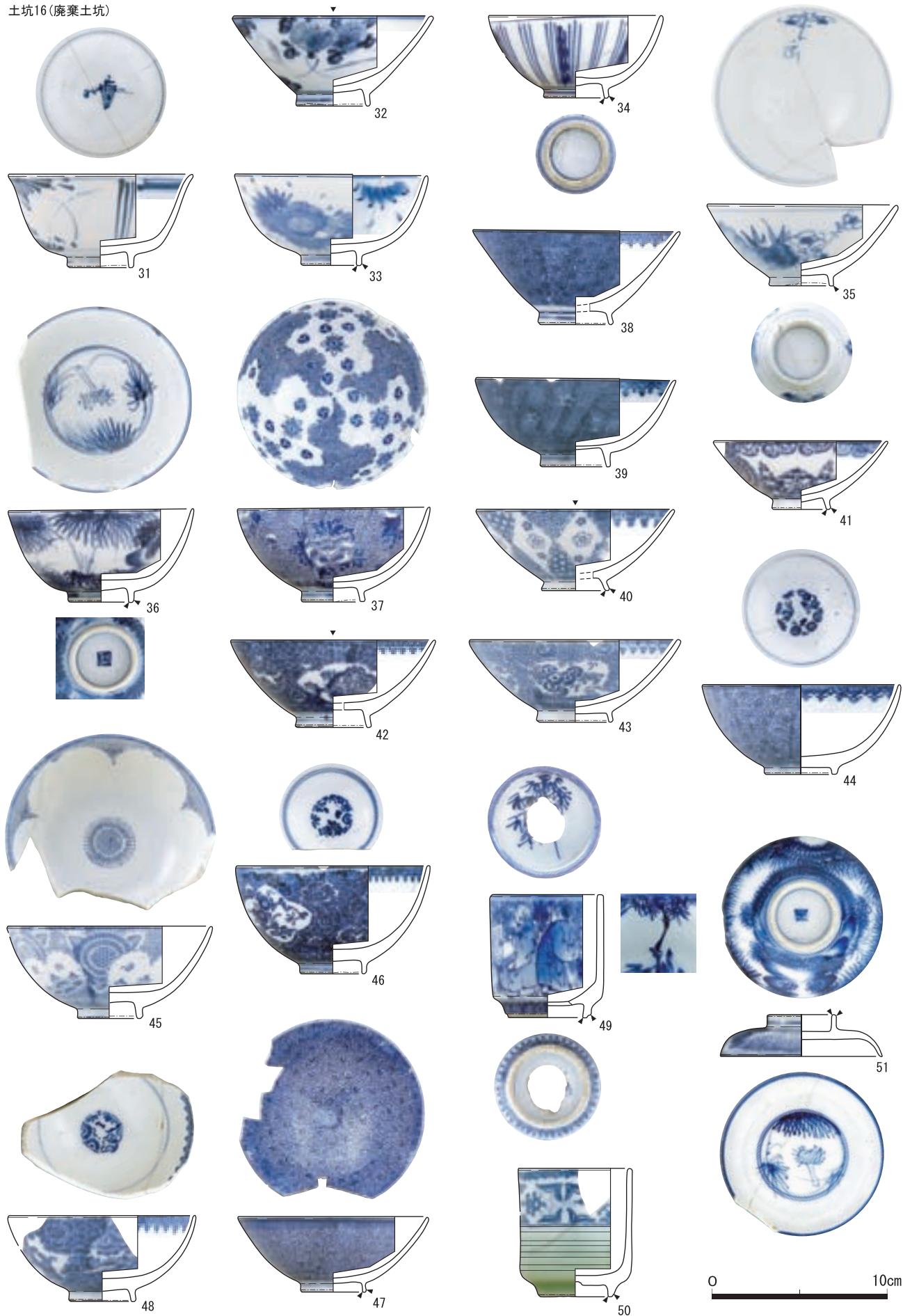
第72図 出土遺物 (1)

大溝1



第73図 出土遺物 (2)

土坑16(廃棄土坑)



第74図 出土遺物 (3)

土坑16(廃棄土坑)



第75図 出土遺物 (4)

土坑16(廃棄土坑)



第76図 出土遺物 (5)

0 10cm

土坑16(廃棄土坑)



第77図 出土遺物 (6)

土坑16(廃棄土坑)



第78図 出土遺物 (7)

土坑16(廃棄土坑)

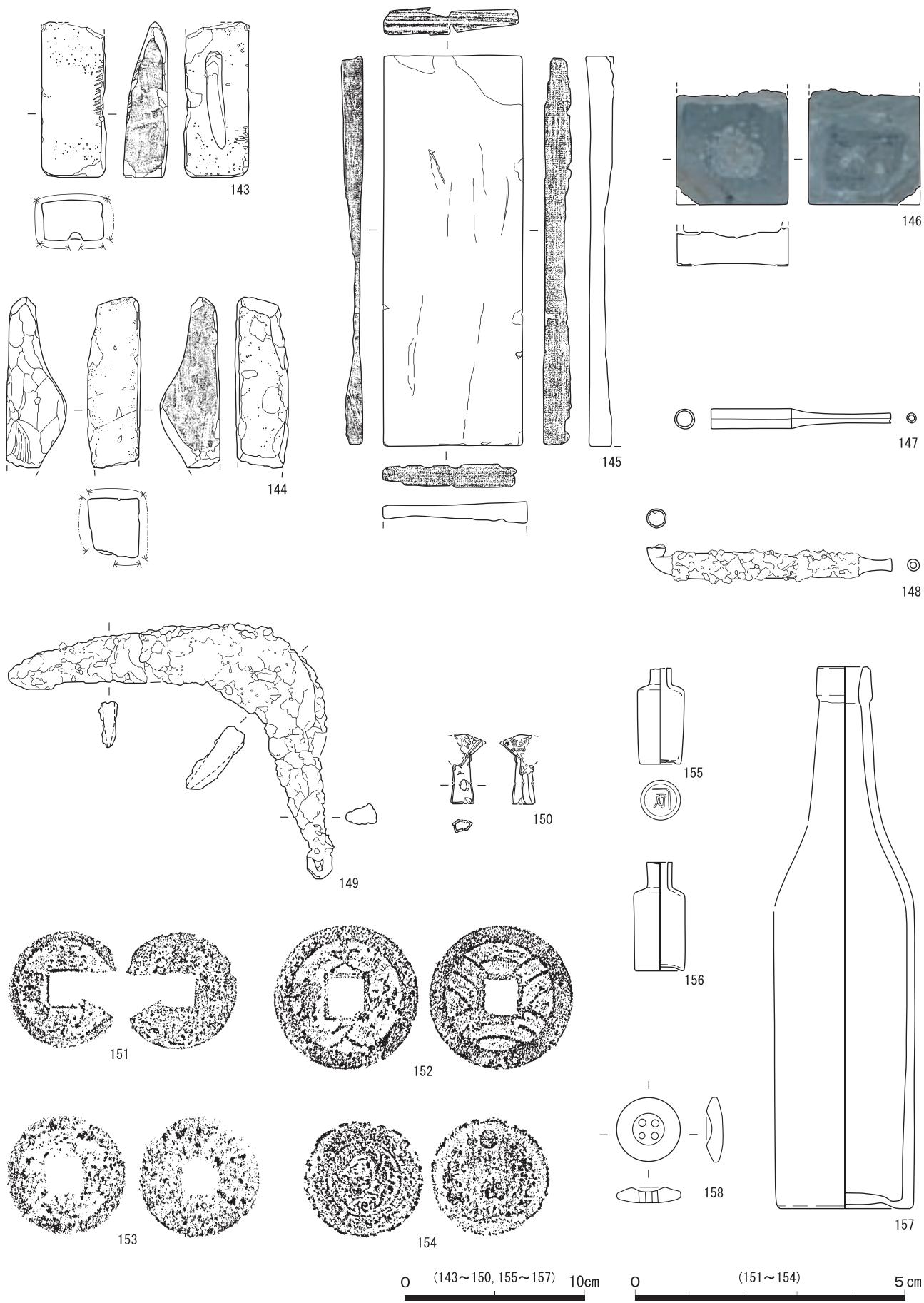


第79図 出土遺物 (8)

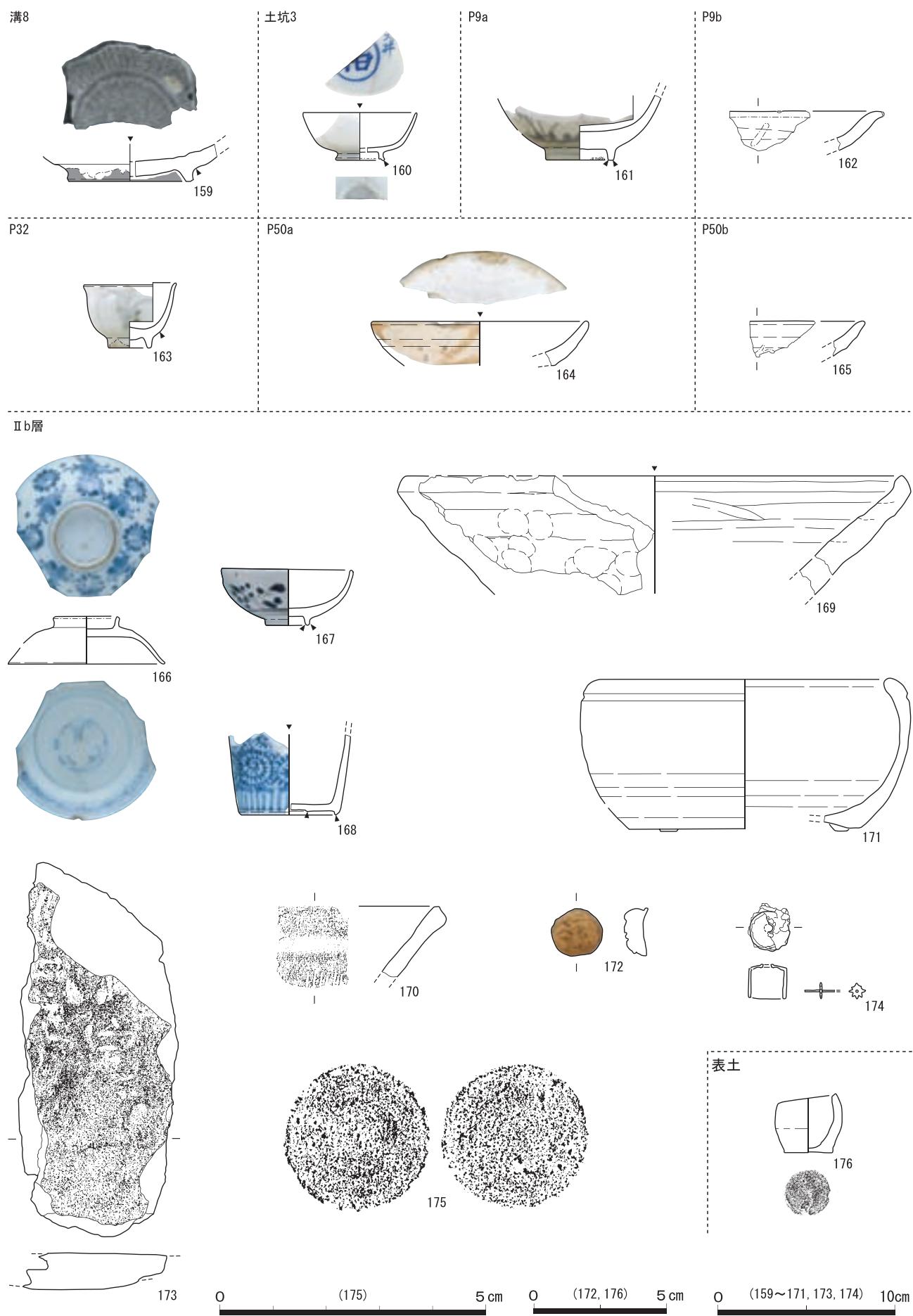


第80図 出土遺物 (9)

土坑16(廃棄土坑)



第81図 出土遺物 (10)



第82図 出土遺物 (11)



大井宿遺跡第11地点 調査区全景



第11地点 穴蔵1（南から）



第11地点 穴蔵1（北から）



大井宿遺跡第11地点 穴蔵1工具痕



大井宿遺跡第11地点 井戸1・大溝1・土坑16（東から）



大井宿遺跡第11地点 井戸1・大溝1・土坑16（北から）



大井宿遺跡第11地点 土坑16



大井宿遺跡第11地点 土坑16出土陶磁器類



大井宿遺跡第11地点 土坑16出土ランプ・油壺



大井宿遺跡第11地点 大溝1出土遺物



大井宿遺跡第11地点 溝8



大井宿遺跡第11地点 溝1



大井宿遺跡第11地点 溝2



大井宿遺跡第11地点 溝3



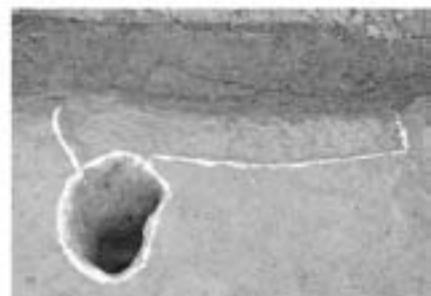
第11地点 溝(試掘1)



大井宿遺跡第11地点 土坑1



大井宿遺跡第11地点 土坑2



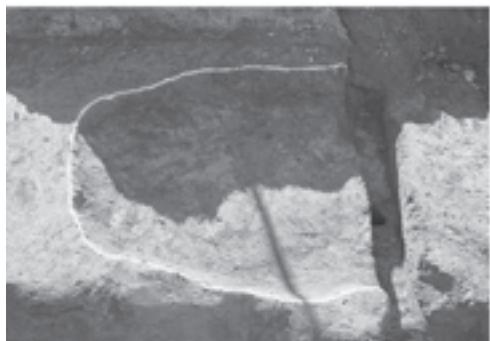
大井宿遺跡第11地点 土坑7



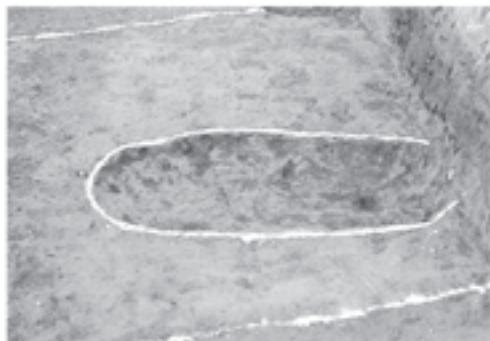
大井宿遺跡第11地点 土坑3



大井宿遺跡第11地点 土坑19覆土



大井宿遺跡第11地点 土坑19完掘状況



大井宿遺跡第11地点 土坑13



第11地点 土坑18



大井宿遺跡第11地点 土蔵跡（南から）



大井宿遺跡第11地点 土蔵跡（東から）



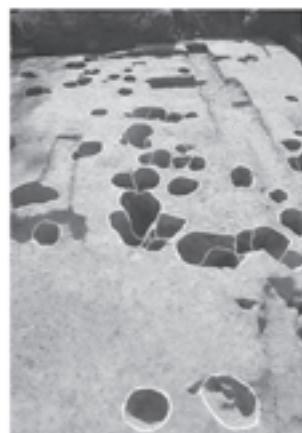
大井宿遺跡第11地点 ピット（試掘1・2・4）



大井宿遺跡第11地点 調査区中央ピット群（北西から）



第11地点 ピット群（西から）



第11地点 ピット群（北から）



大井宿遺跡第11地点 ピット群出土遺物